

## 第5章. クロス集計とその特徴

### 1. クロス集計の意図

回収票の各属性についてクロス集計を行い、その特徴を分析する。属性間の関連性や差異の把握をし、的確なアプローチと、課題の共有をめざす。

### 2. クロス集計の属性設定

- (1) 性別による差異：男性／女性
- (2) 年齢による差異：15～49 歳までの人／50～79 歳までの人
- (3) 住所地による差異：杵築地域在住者／山香・大田地域在住者
- (4) 出身地による差異：生まれてからずっと住み続けている人／進学や就職で一度転出し、再び戻ってきた人／転入してきた人

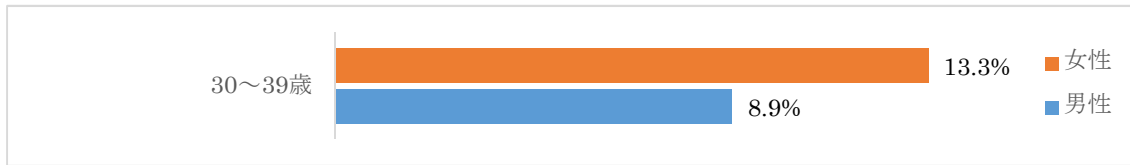
集計の特徴的部分について、次頁以降にまとめる。

## (1) 性別による差異

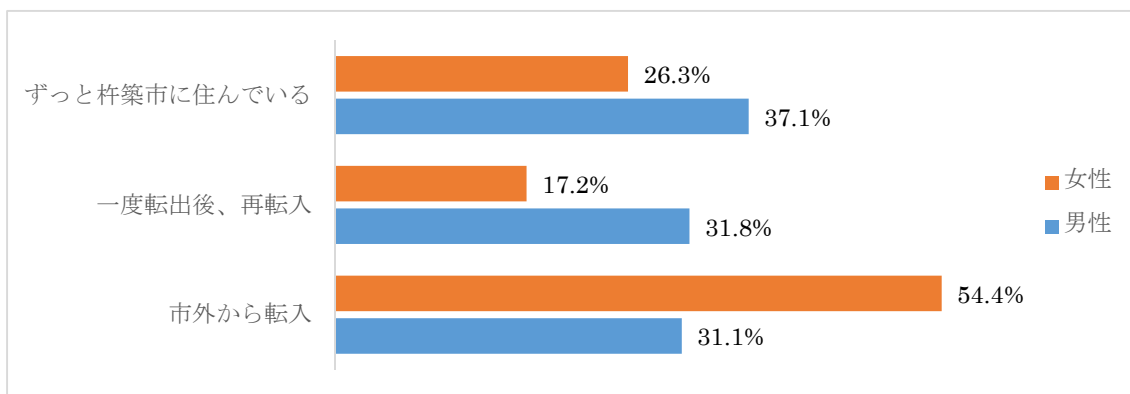
男性：280票、女性：338票

### 【項目1】属性における特徴

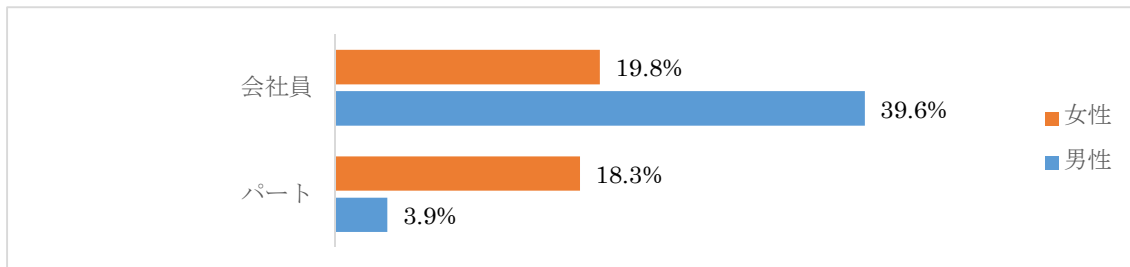
#### (年齢)



#### (出身)



#### (職業)

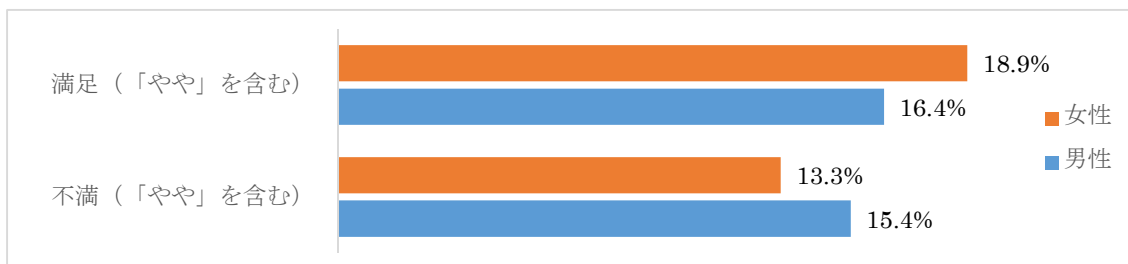


- ・ 今回のアンケート調査では、30代男性の回答率が低かった。
- ・ 出身型を見ると、男性はおおむね均等割合だったのに対し、女性は転入者（市外出身者）が半数を超えた。杵築市から一度転出した女性は戻って来にくい傾向があるのかもしれない。
- ・ 職業では、男性に比べ女性は、「会社員」の割合が少なく、「パート」が多い。

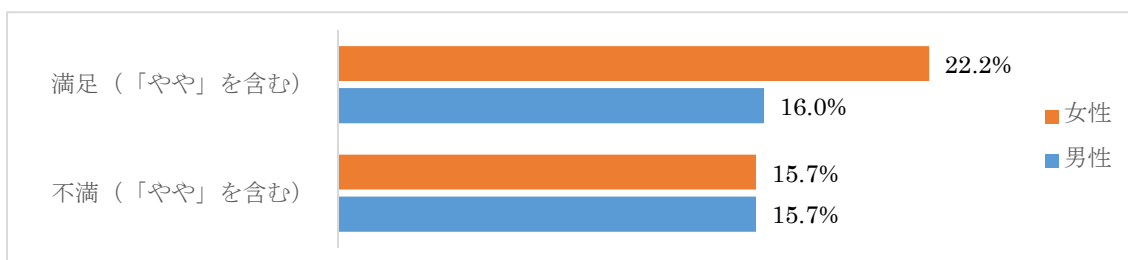
【項目2】各事業分野／市役所事務のあり方における特徴

- ・女性は「わからない」を選択する割合が男性の2～3倍高く、「ふつう」を選択する割合が低い。女性に対して市政情報が伝わっていないおそれがある。
- ・女性は、男性に比べて「満足・やや満足」の割合が高い。
- ・男女とも、重要度が高い項目は重なる傾向にあった。

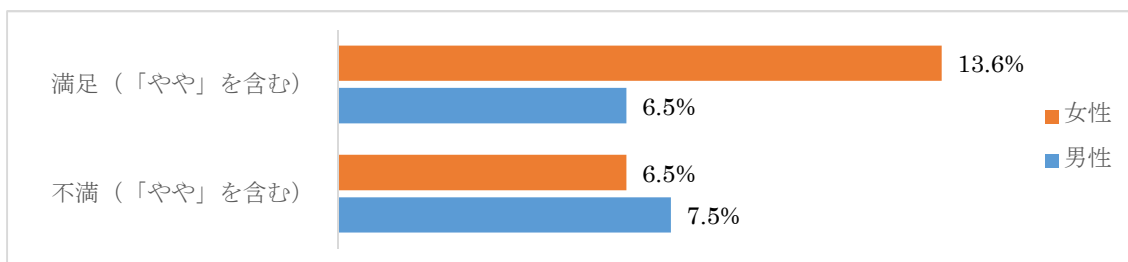
(問4：福祉の充実に関する満足度)



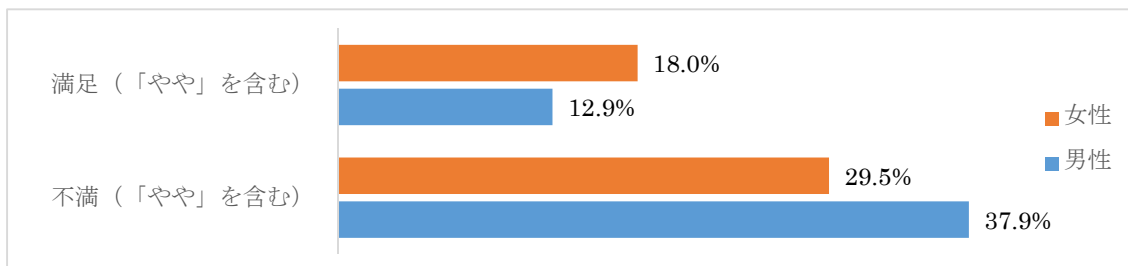
(問17：子育て支援の充実に関する満足度)



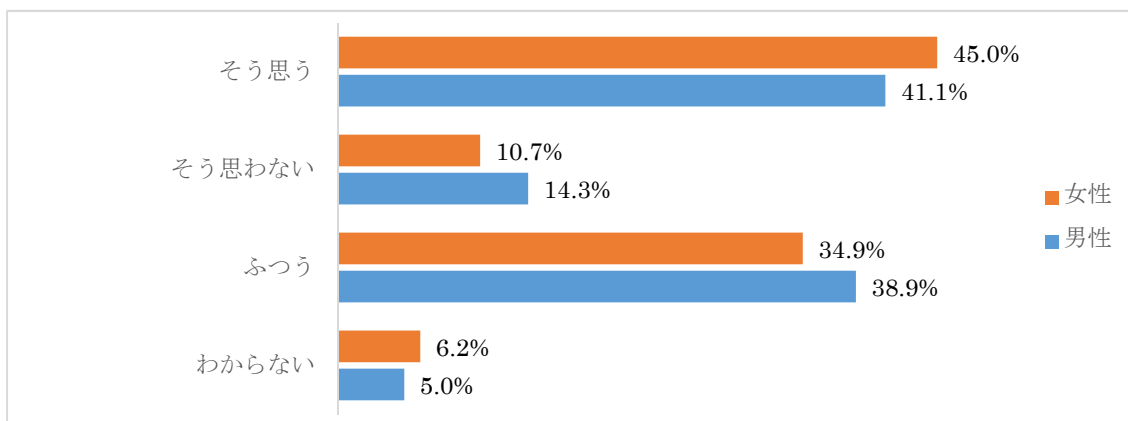
(問20：人権が尊重されるまちづくりに関する満足度)



(問21：道路網の整備に関する満足度)

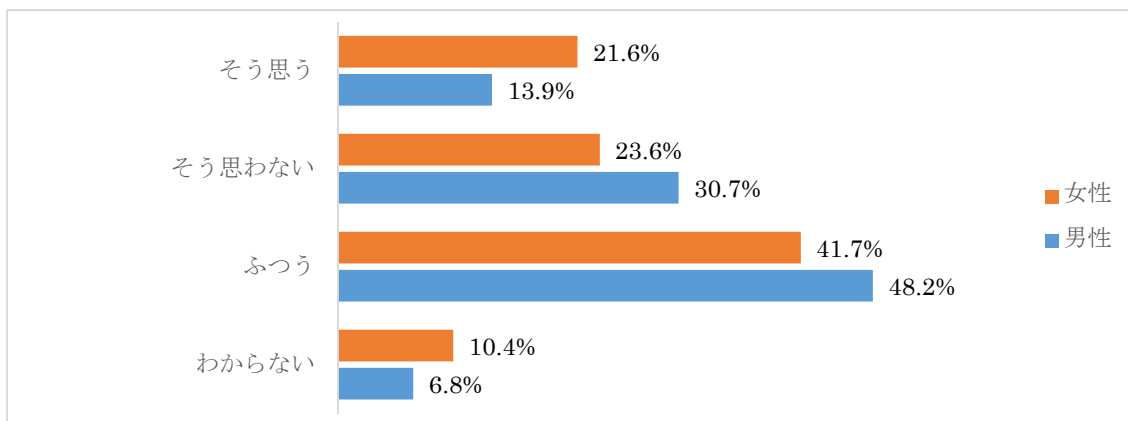


(問 28：市職員の窓口・電話対応は丁寧で分かりやすいと思うか)



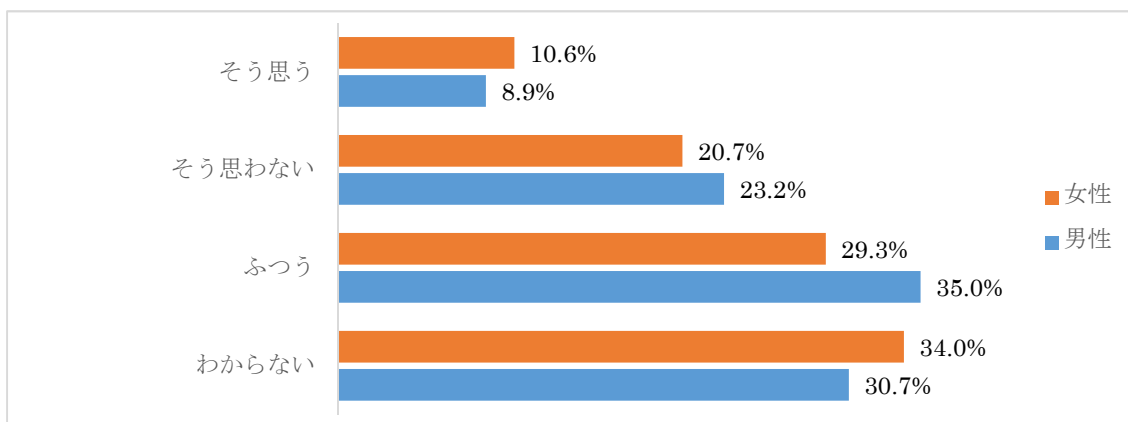
※「そう思う・思わない」には、「どちらかといえば」を含む。

(問 30：市民に役立つ情報が伝えられていると思うか)



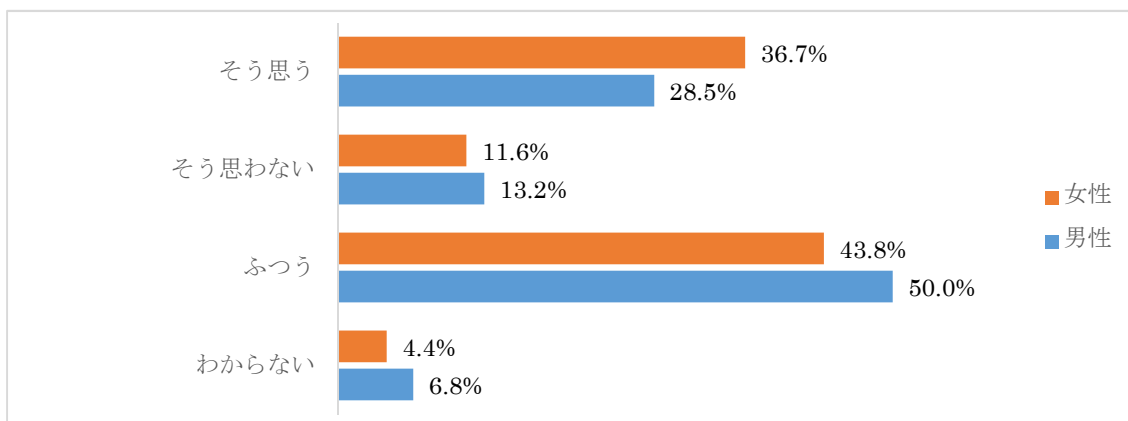
※「そう思う・思わない」には、「どちらかといえば」を含む。

(問 31：市のホームページは利用しやすいと思うか)



※「そう思う・思わない」には、「どちらかといえば」を含む。

(問 32：広報きつき（市報）の内容は充実していると思うか)

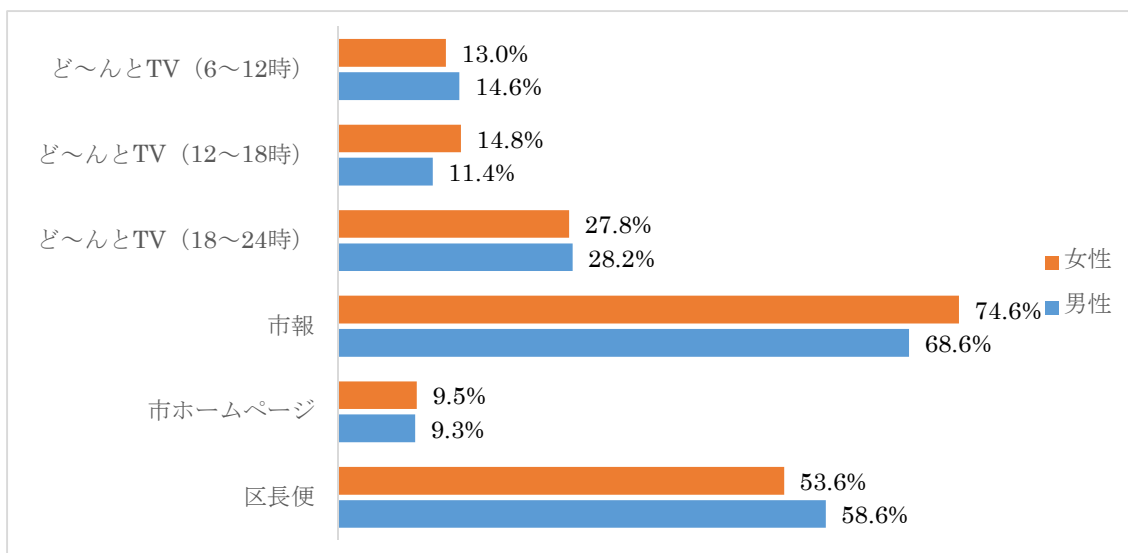


※「そう思う・思わない」には、「どちらかといえば」を含む。

- ・ 職員の対応等、市役所事務について、「女性」の方が、満足度が高い傾向にある。
- ・ 特に「市民に役立つ情報が伝えられているか」、「広報きつきの内容は充実しているか」では、女性の満足度が高い傾向が顕著だった。
- ・ 市ホームページについて、性差はほとんどなかった。

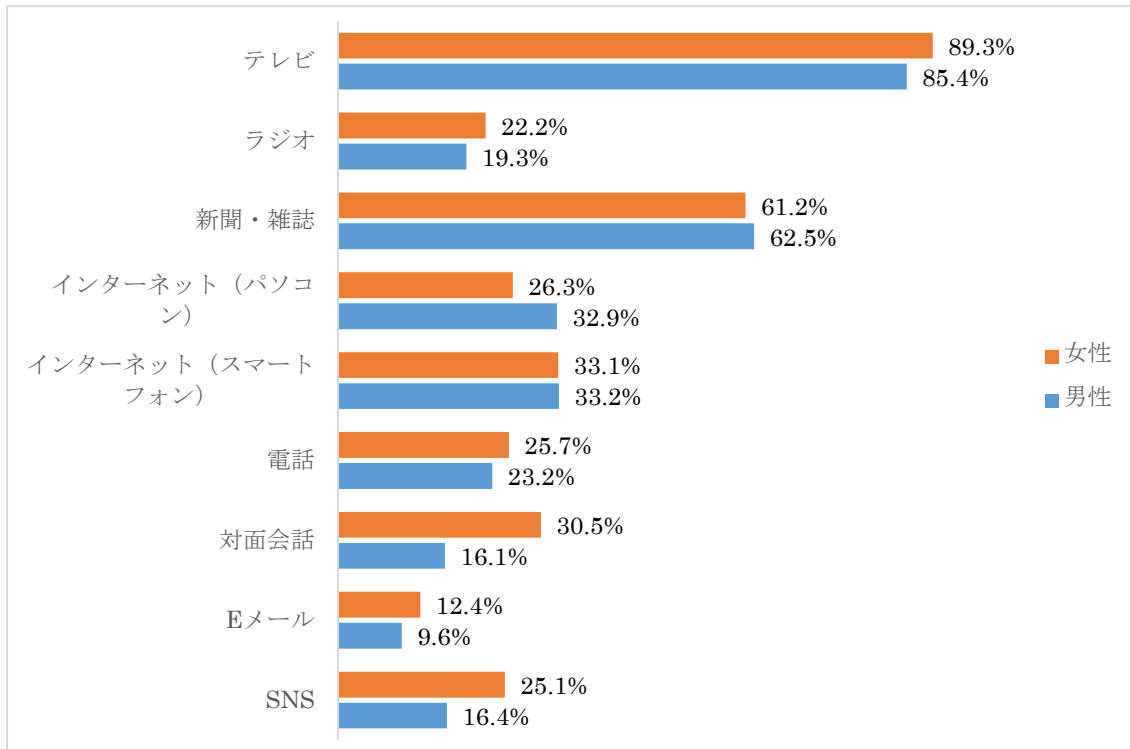
【項目3】生活、結婚・子育て等に関する意識調査における特徴

(問 33：定期的に見たり、聞いたりしている情報源／抜粋)



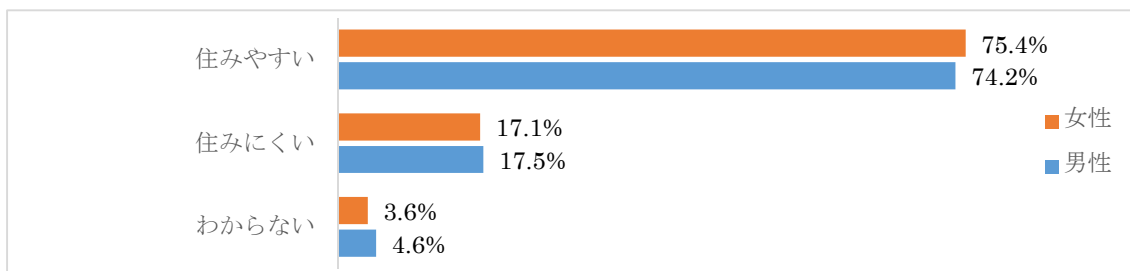
- ・ 女性の方が、定期的にご利用する情報源として、市報を利用する割合が高い。

(問 34：日ごろ、よく利用する情報機器やコミュニケーション方法／抜粋)



- ・インターネットの接続について、「スマートフォンから」に性差はなかったものの、「パソコンから」は、男性の方が多かった。
- ・対面会話は約 2 倍近い性差が表れた。女性は、日常の情報収集やコミュニケーション方法として男性より「会話」を行う率が高い。
- ・SNS の利用率も、女性の方が高かった。

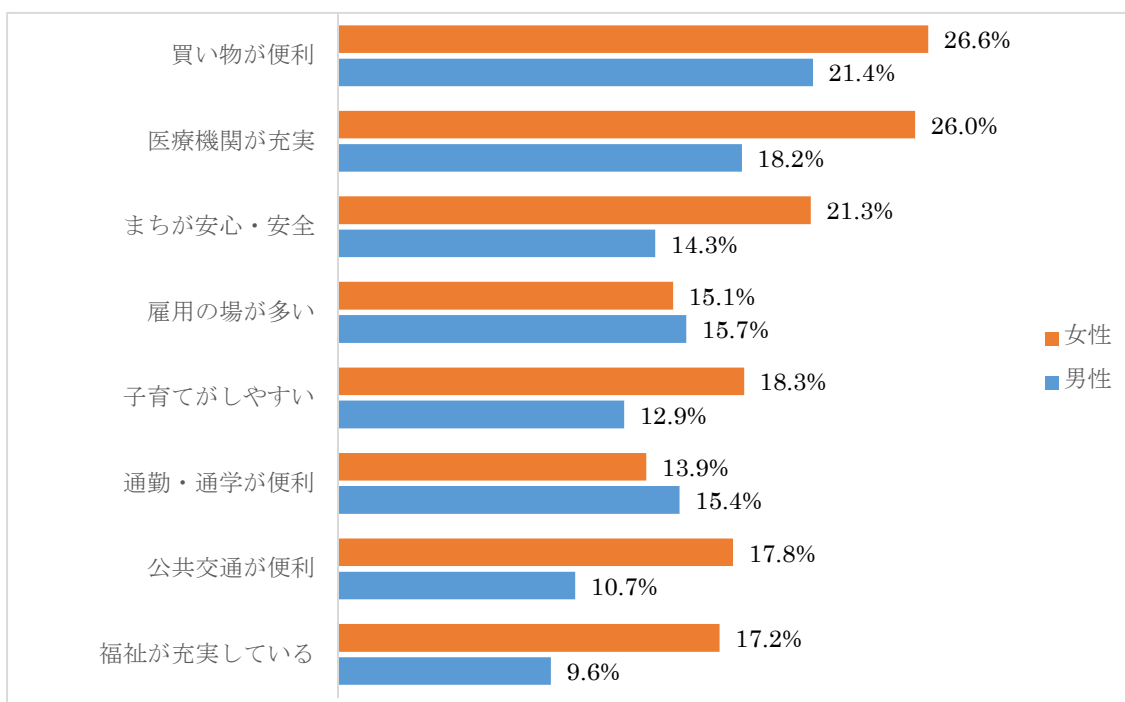
(問 35：杵築市の住みやすさをどう感じているか)



- ・住みやすさについて、特に大きな性差はみられなかった。  
※上記「住みやすい・住みにくい」は、「どちらかといえば」を含む。

(問 36：日頃の暮らしの中で、重要だと思う項目)

※上位 5 項目 (2 位まで同じ項目となった) と特徴のある項目を抜粋。



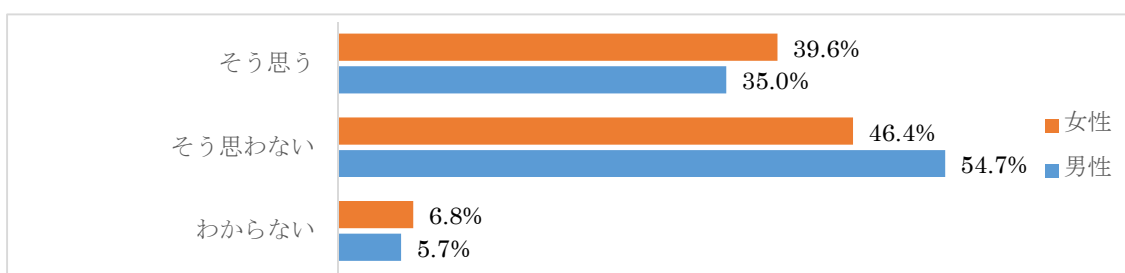
- ・いずれの属性も、重要視するのは「①買い物が便利なこと」、「⑧医療機関が充実していること」の順だった。
- ・3位は、男性「⑩雇用の場が多い」だったのに対し、女性「⑬まちが安心・安全であること」だった。同様に4位は、男性「③通勤・通学が便利」に対し、女性「⑪子育てがしやすい」だった。
- ・全体的に、男性は、女性に比べ重要視するという回答が少ない傾向がみられた。

(問 36：杵築市をどのように感じるか)

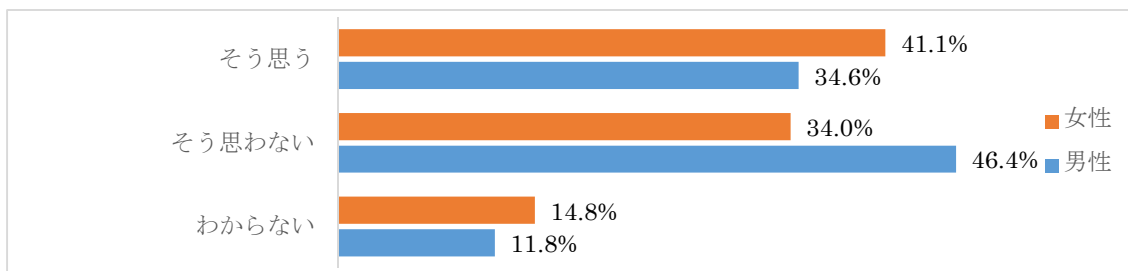
※本問では、重要と感じるかと合わせて、今の杵築市について「そう思うか」、「そう思わないか」を調査。全 17 項目のうち、特徴的な 6 項目を以下に示す。

※「そう思う」「そう思わない」には、「どちらかといえば」を含む。

【⑤物価が安い】

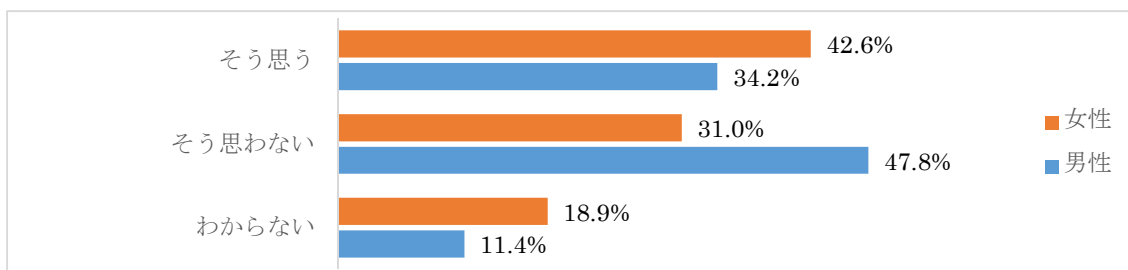


### 【⑦住宅条件が良い】

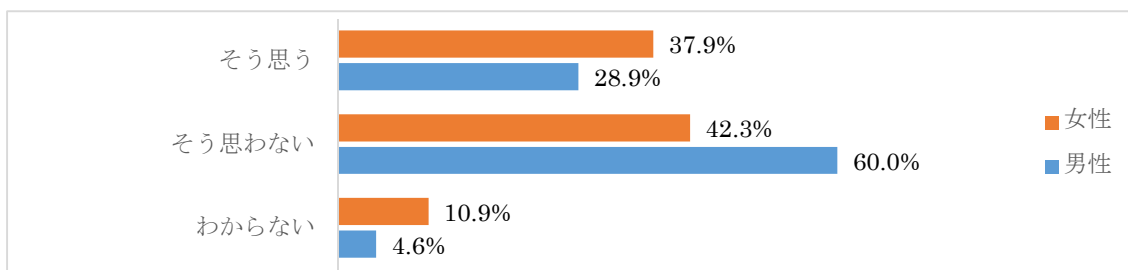


・女性より、男性の方が、杵築市は物価が高い、住宅条件が悪いと感じている。

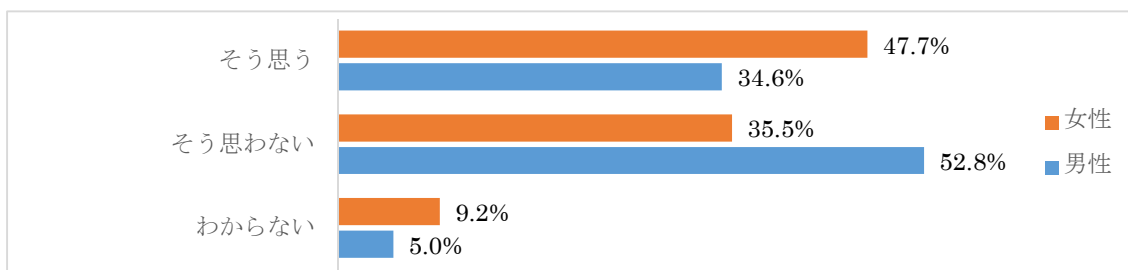
### 【⑨福祉が充実】



### 【⑩道路などの都市基盤が充実】



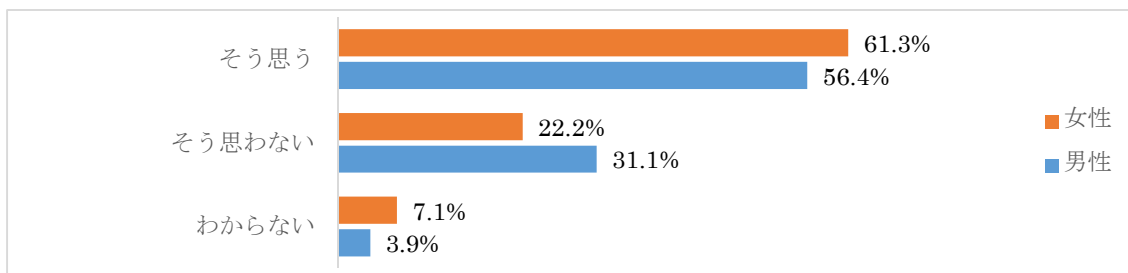
### 【⑮生活道路や公園など生活環境が良い】



・女性より、男性の方が、福祉が充実していないと感じている。また、男性は道路や公園など、都市基盤や生活環境等、インフラ整備に不満を感じている。

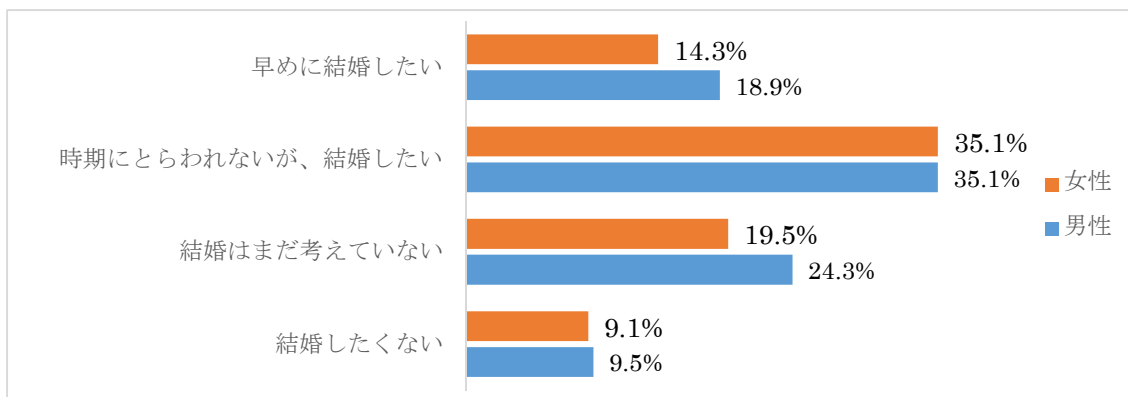


#### 【⑭まちのイメージが良い】



・男性より、女性の方が、杵築市は「まちのイメージが良い」と感じている。

#### (問 38：未婚者の「結婚」への意識調査)



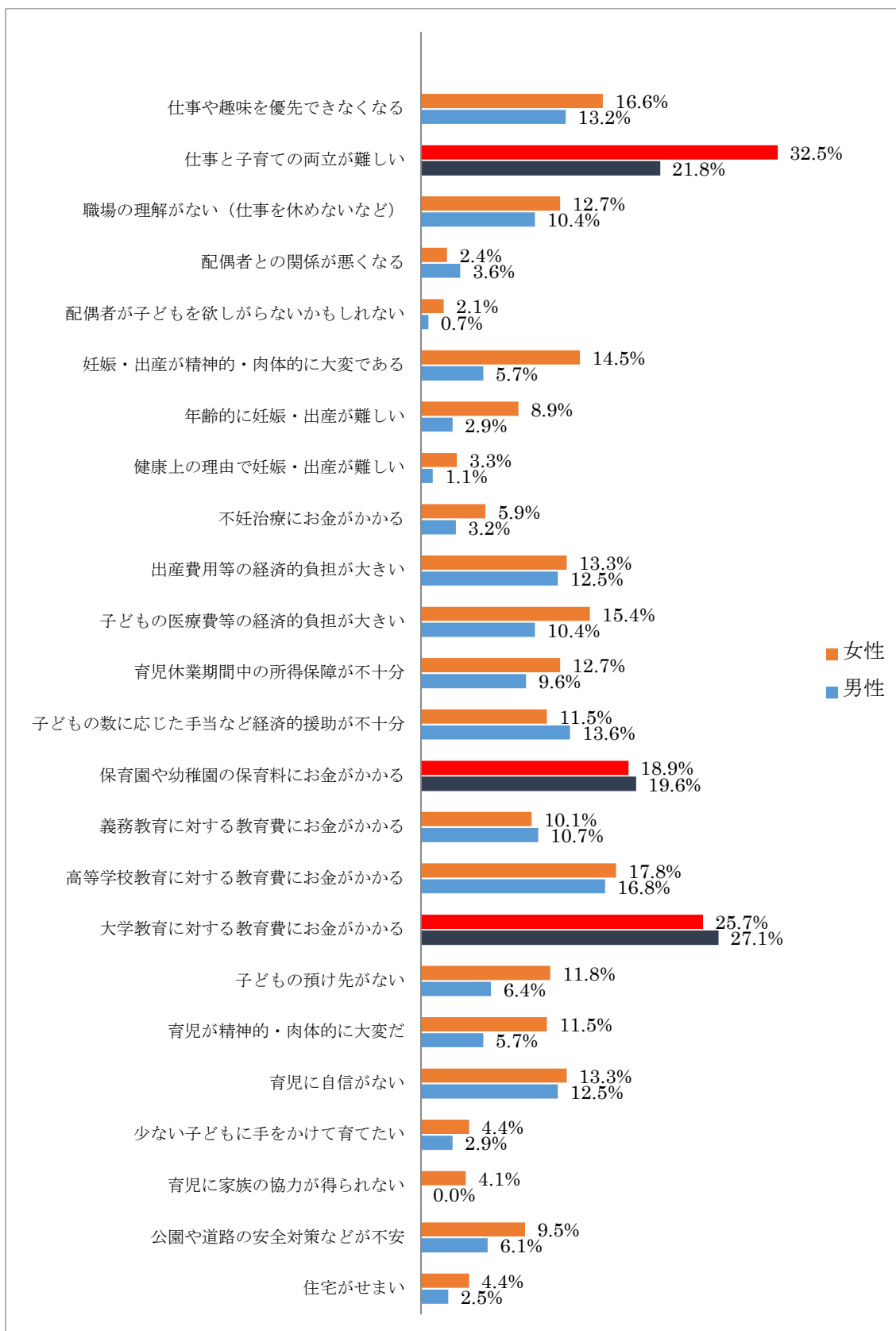
n = (男性 74 / 女性 77)

・「早めに結婚したい」、「まだ考えていない」において、若干男性の割合が高いが、大きな性差はみられなかった。

#### (問 39～41：現在の子どもの数、理想とする子どもの数、持つ予定の子どもの数)

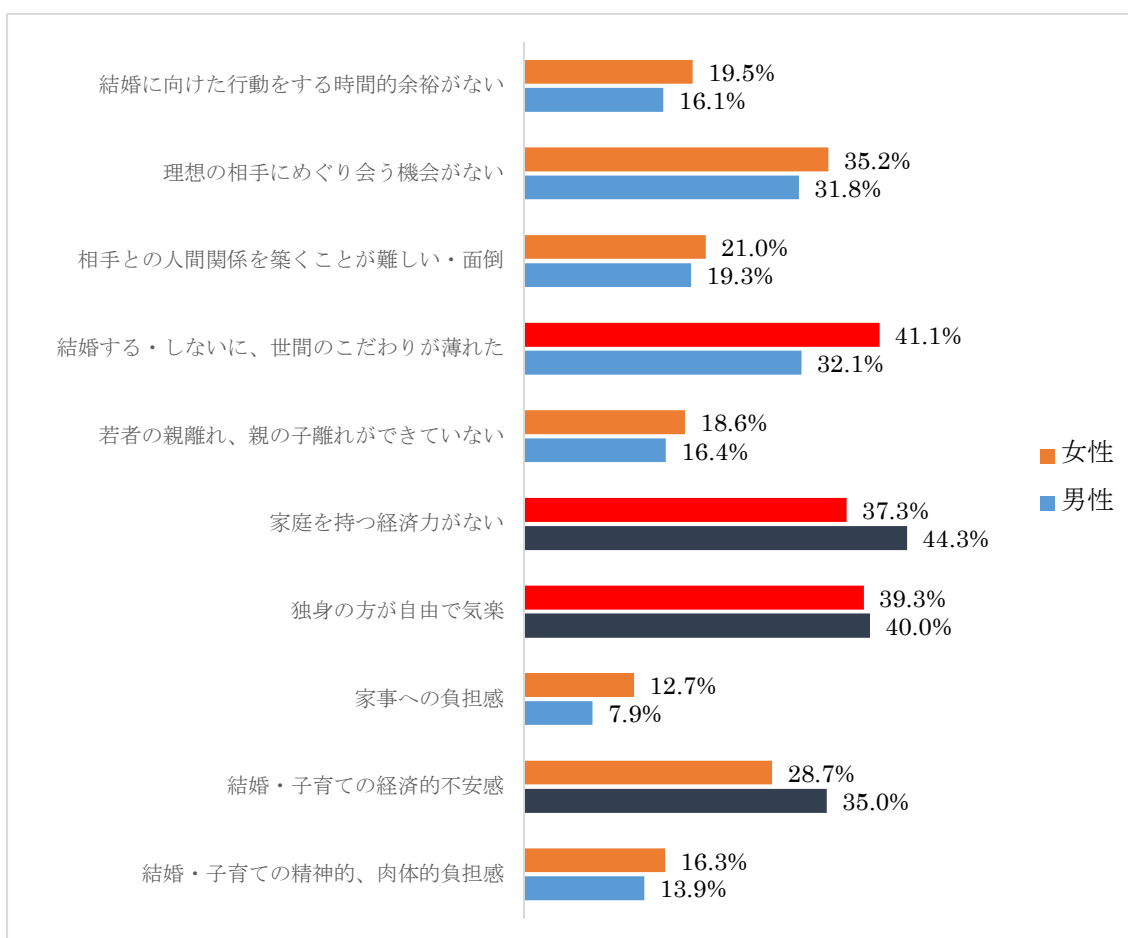
・これらの問について、大きな性差はみられなかった。

(問 42：出産・子育てに関する懸念や不安)



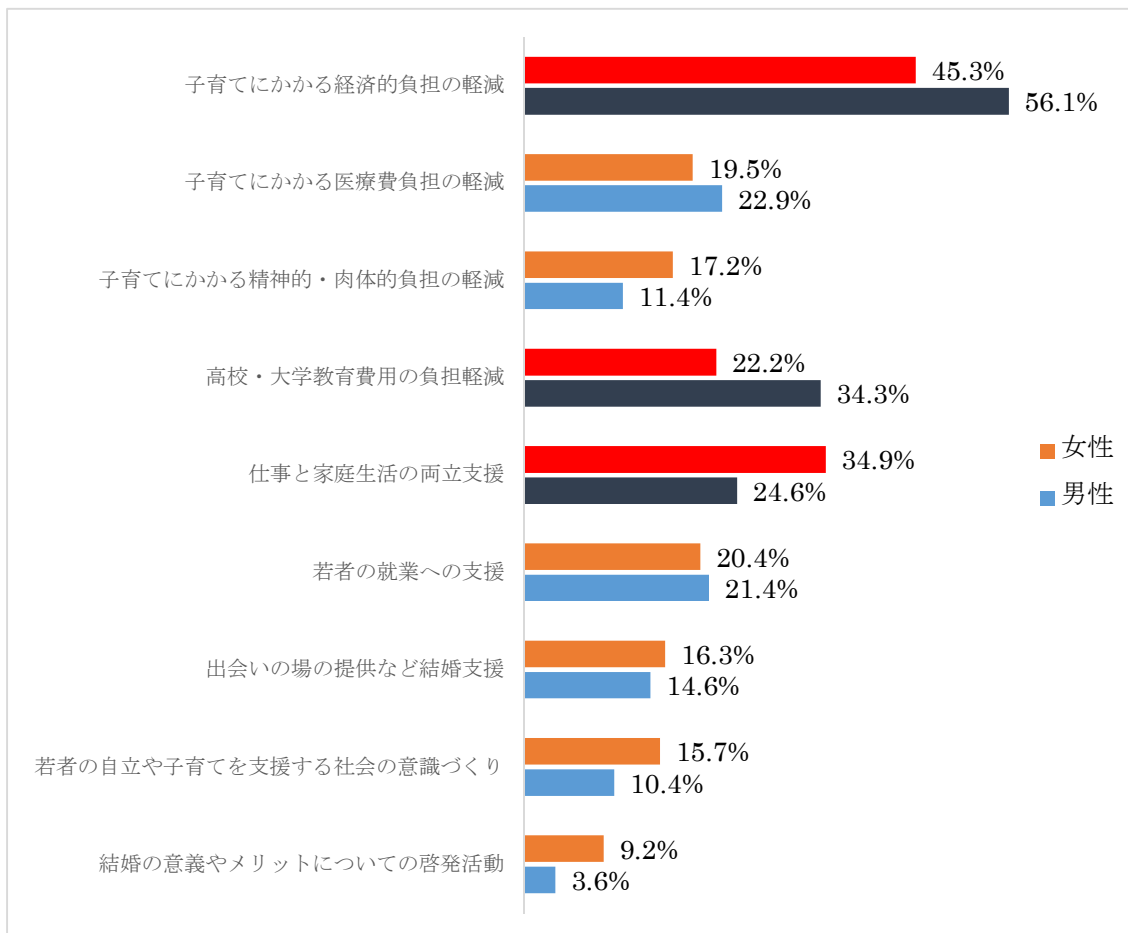
- ・ほとんどの項目で不安を感じる女性の方が、男性より多かった。
- ・「仕事との両立」は男女とも高い項目だったが、男性は 22%だったのに対し、女性は 33%の人が不安視している。
- ・育児に自信がないと答える男女差はなかったのに対し、育児が大変だと答えた女性（11.5%）の方が、男性（5.7%）より明らかに多かった。
- ・男女とも、保育料と大学教育費への懸念が高かった。

（問 43：晩婚化・未婚化の原因は何だと思うか）



- ・男女とも、「独身の方が自由で気楽」と答える割合が高かった。
- ・男女とも、経済的不安を感じており、男性の割合が若干高い傾向にあった。
- ・結婚することへの世間体の薄れをあげる人の割合も高く、女性の方が若干高い傾向にあった。

(問 44：結婚・子育てに求める対策等)



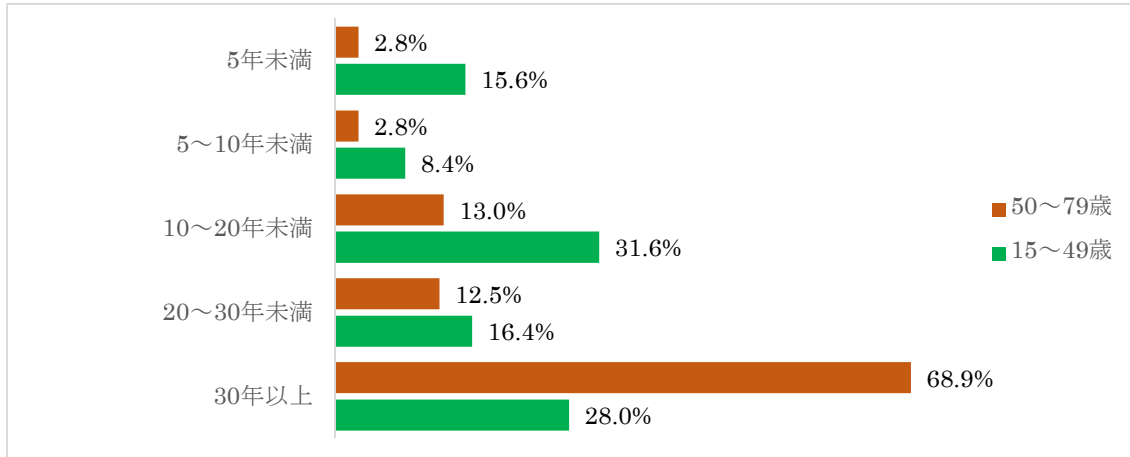
- ・男女とも経済的不安の解消（高校・大学にかかる費用）、仕事との両立を求める声が多かった。
- ・「仕事との両立」の不安解消を求める女性の割合が高い一方で、経済的不安解消を求める男性の割合が高い。

## (2) 年齢（15～49歳と50～79歳）の差異

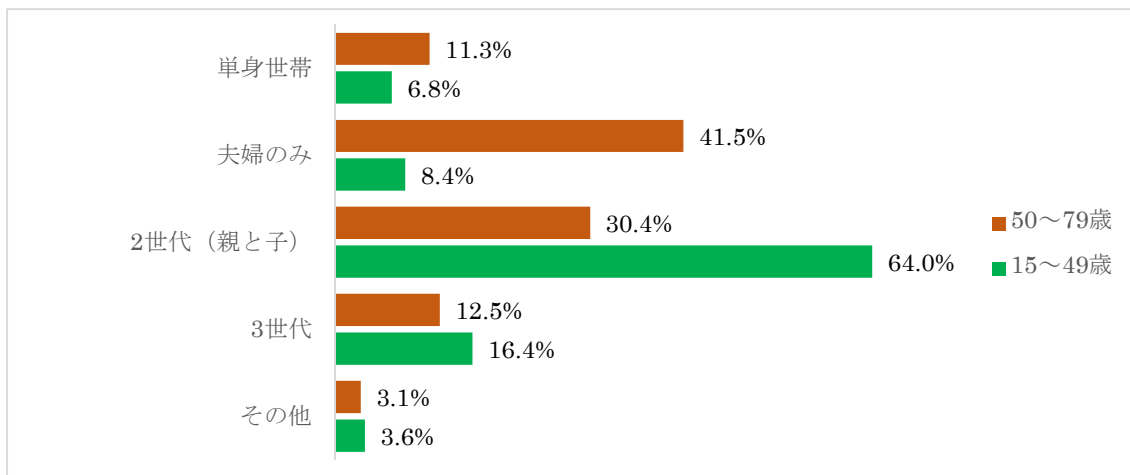
15～49歳：250票、50～79歳：424票

### 【項目1】属性における特徴

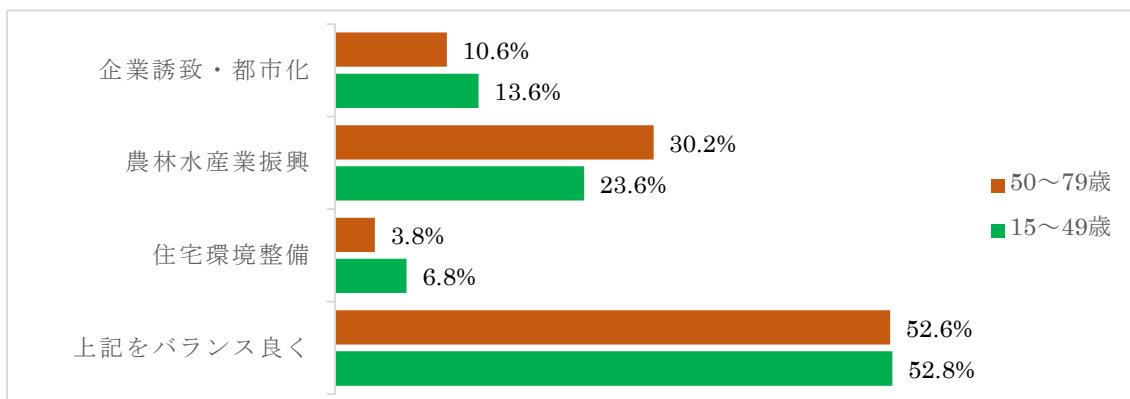
#### (住年数)



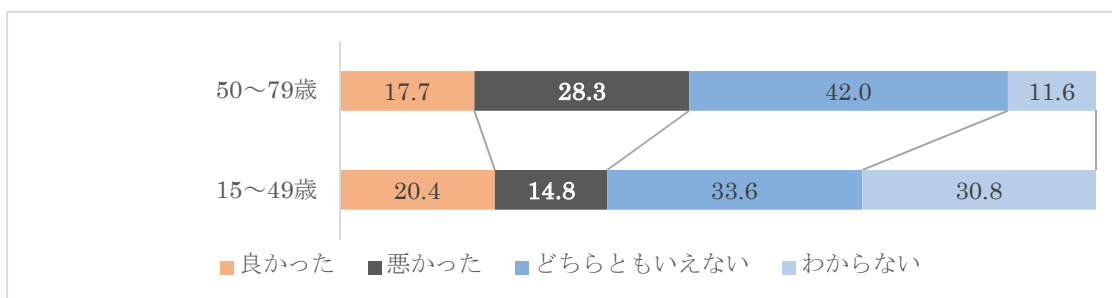
#### (家族構成)



#### (杵築市に合うと思われるまちづくりの方向性)



(合併の評価) 単位：%



- ・ 住年数が10年未満の人の割合は、「15~49歳」の方が高い。「50~79歳」の転入は、杵築市では限定的。
- ・ 家族構成について、「15~49歳」では、2世代世帯がもっとも多く、次いで3世代世帯だった。単身世帯、夫婦のみの世帯は少ない。
- ・ 「50~79歳」の家族構成では、夫婦のみの世帯がもっとも多く、次いで2世代世帯だった。単身世帯は「15~49歳」よりも多い。
- ・ まちづくりの方向性について、年齢による差異はほとんどみられない。バランス型が半数を超えた。
- ・ 合併の評価について、双方「どちらともいえない」がもっとも多かったが、「悪かった」と答えた「50~79歳」は、「15~49歳」の倍近い比率だった。

---

#### 【項目2】各事業分野／市役所事務のあり方における特徴

- ・ 「重要度」や「満足・不満足」の比率は、おおむね同様な傾向がみられた。
- ・ 「満足」と「不満足」の値が、「15~49歳」と「50~79歳」で反対になった項目の例

- 「15~49歳」の方が「満足」が高く、「不満足」が低かったもの

- 【問26】 市民と行政の協働のまちづくり

- 「50~79歳」の方が「満足」が高く、「不満足」が低かったもの

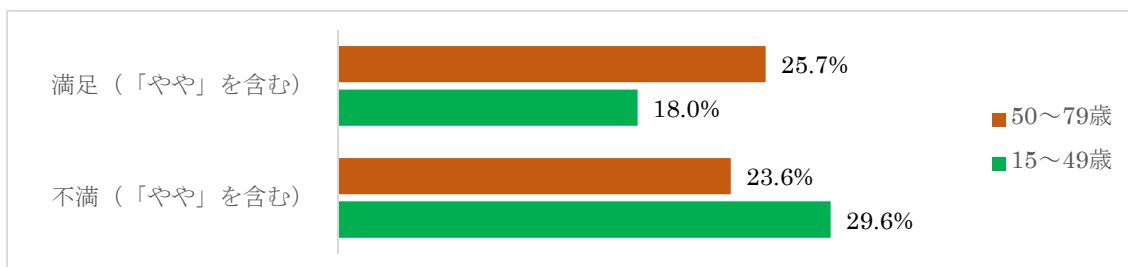
- 【問2】 保健・医療体制の充実

- 【問4】 福祉の充実

- 【問7】 交通安全対策

- 【問18】 幼児・学校教育の充実

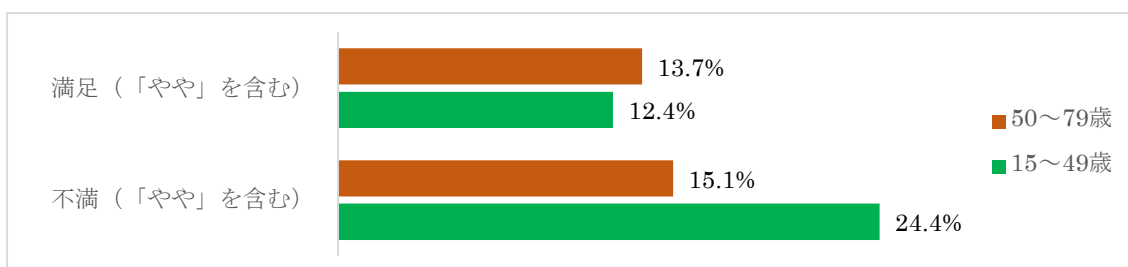
(問2：保健・医療体制の充実に関する満足度)



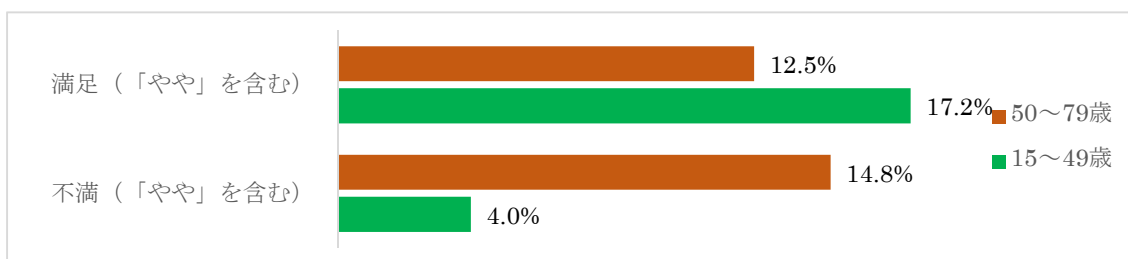
(問7：交通安全対策に関する満足度)



(問19：社会教育の充実と生涯学習の充実に関する満足度)

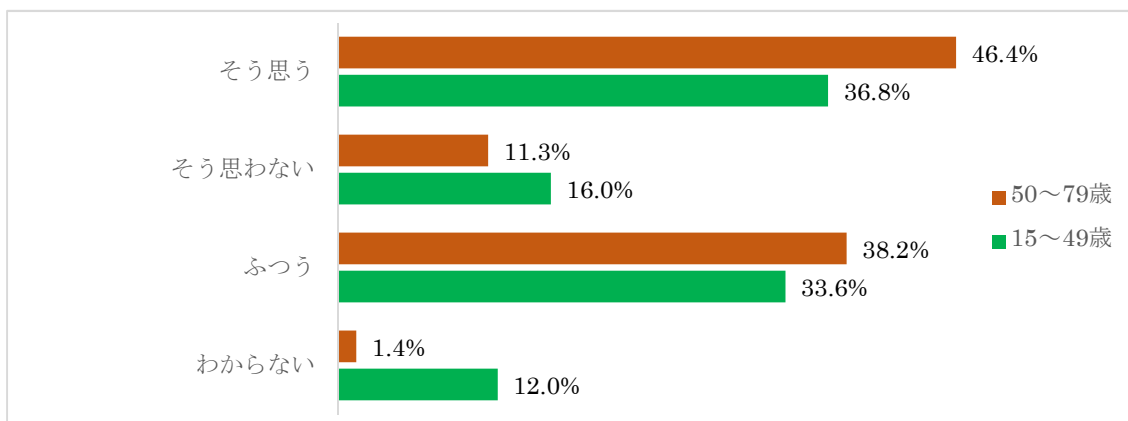


(問26：市民と行政の協働のまちづくりに関する満足度)



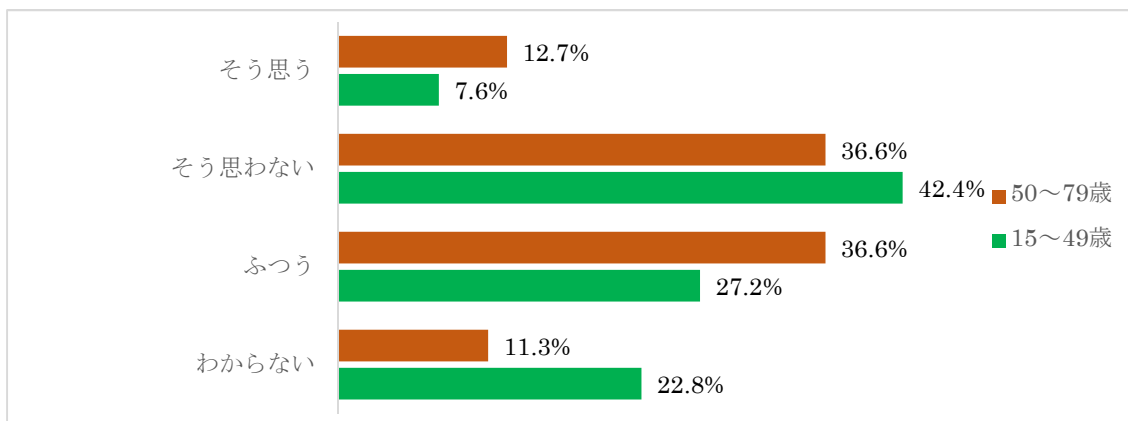
- ・【問2・7・19】において、「15～49歳」の不満割合が目立って高かった一方で、【問26】では、「50～79歳」の不満割合が高くなった。
- ・いずれの属性も、満足度がもっとも高かったのは消防・防災対策だった。
- ・いずれの属性も不満度が高かったのは、雇用・道路整備・公共交通整備だった。

(問 28：市職員の窓口・電話対応は丁寧で分かりやすいと思うか)



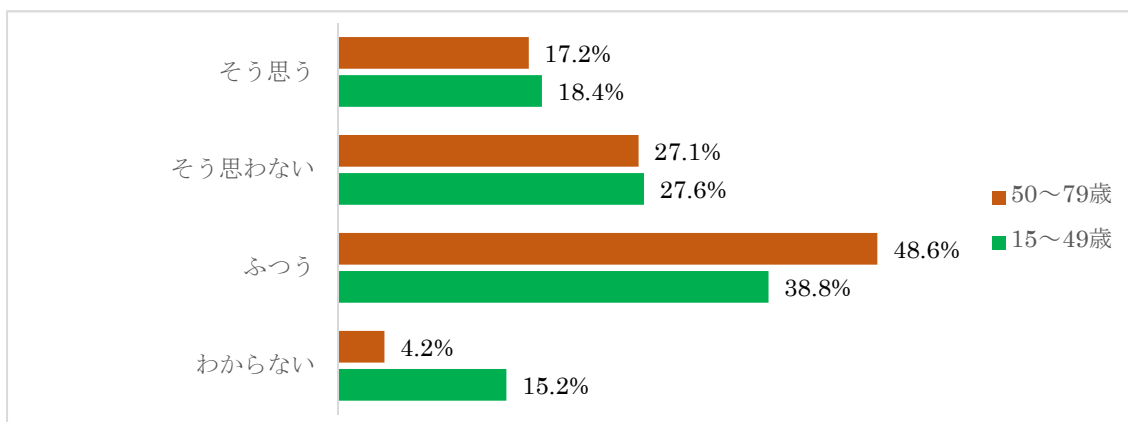
※「そう思う・思わない」には、「どちらかといえば」を含む。

(問 29：市民の意見は市政に活かされていると思うか)



※「そう思う・思わない」には、「どちらかといえば」を含む。

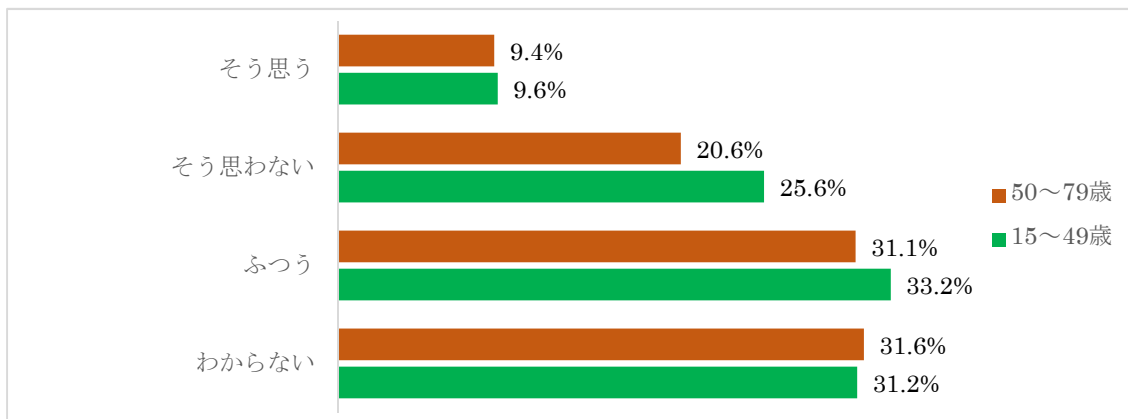
(問 30：市民に役立つ情報が伝えられていると思うか)



※「そう思う・思わない」には、「どちらかといえば」を含む。

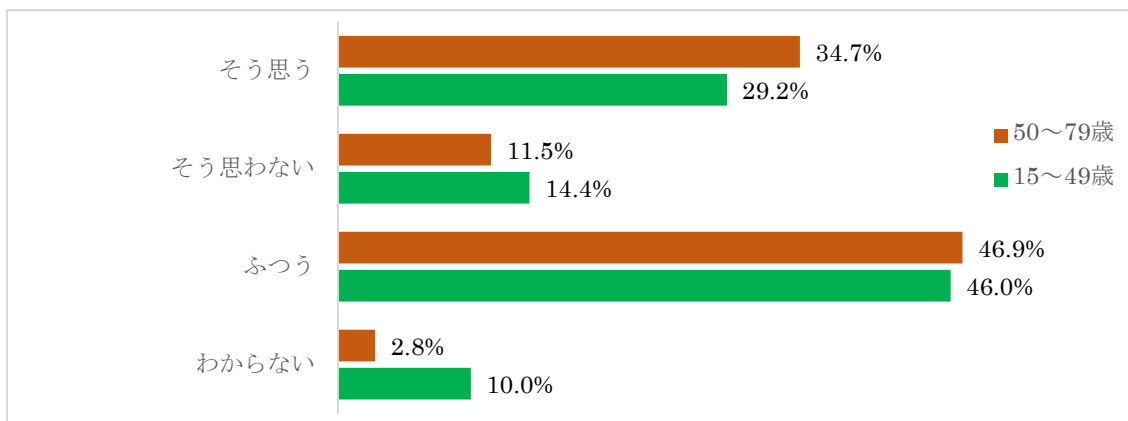


(問 31：市のホームページは利用しやすいと思うか)



※「そう思う・思わない」には、「どちらかといえば」を含む。

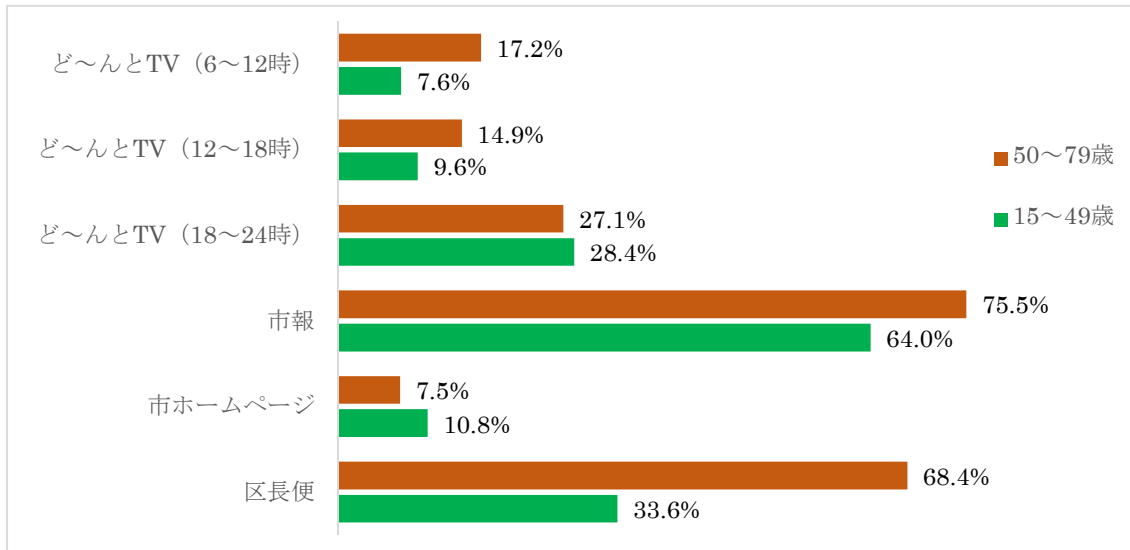
(問 32：広報きつき（市報）の内容は充実していると思うか)



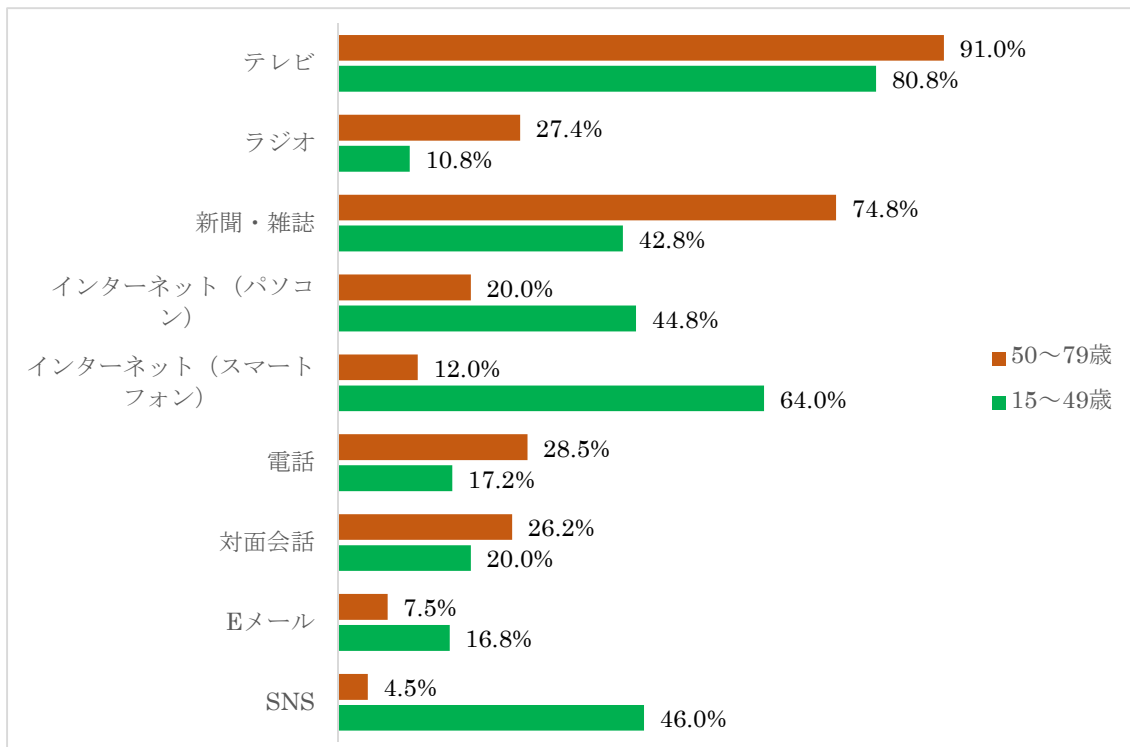
※「そう思う・思わない」には、「どちらかといえば」を含む。

- ・市役所事務【問 28～32】について、「15～49 歳」の人が「わからない」と感じる割合が高い傾向にある。
- ・職員の対応等、おおむね「50～79 歳」の人の方が、満足度が高い。
- ・広報きつきの満足度について、「50～79 歳」の人の方が、若干高い一方で、市ホームページについては、いずれの属性も満足度が低く、「わからない」の割合が同程度となっている。

【項目3】生活、結婚・子育て等に関する意識調査における特徴  
 (問 33：定期的に見たり、聞いたりしている情報源／抜粋)

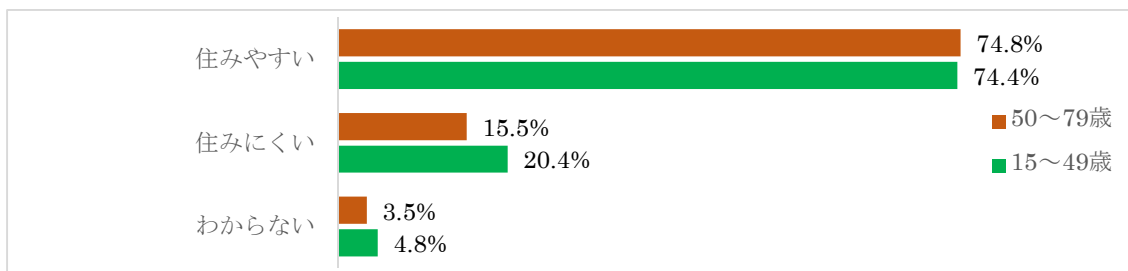


(問 34：日ごろ、よく利用する情報機器やコミュニケーション方法／抜粋)



- ・「15～49歳」の半数以上が市報を読む一方、区長便はあまり利用されていない。
- ・所持する機器の違い等、「年齢による情報収集方法」がはっきりと現れた。
- ・対面会話に、性別差ほどの大きな差異はない。

(問 35：杵築市の住みやすさをどう感じているか)

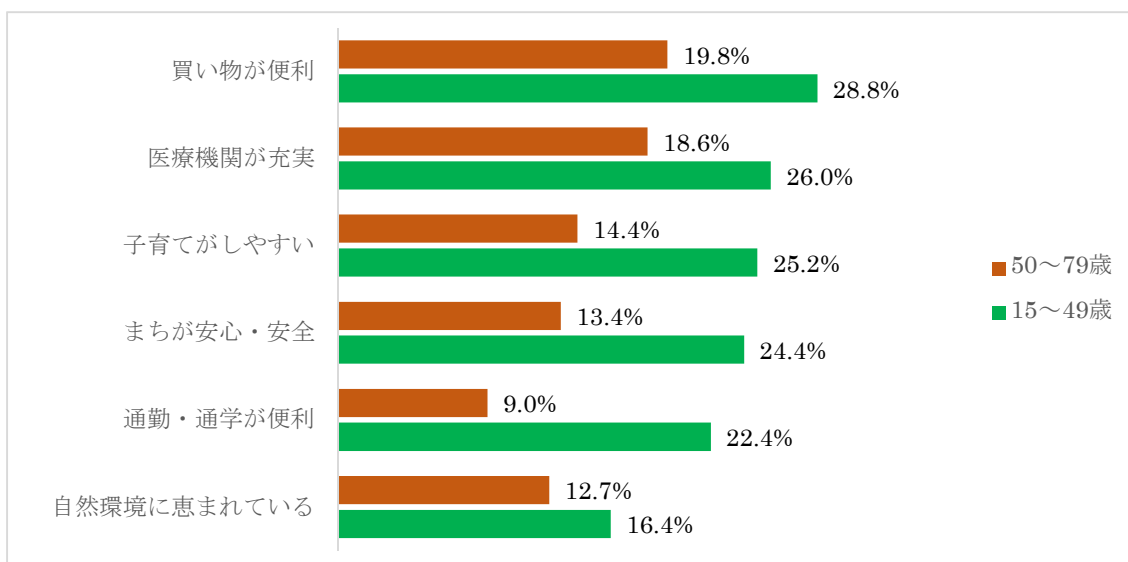


・住みやすさについて、特に大きな年齢差はみられなかった。

※上記「住みやすい・住みにくい」は、「どちらかといえば」を含む。

(問 36：日頃の暮らしの中で、重要だと思う項目)

※各上位 5 項目を抜粋。(4 位まで同じ項目となった)



・いずれの属性も、重要視するのは「①買い物が便利なこと」、「⑧医療機関が充実していること」、「⑪子育てがしやすいこと」、「⑬まちが安心・安全であること」の順だった。

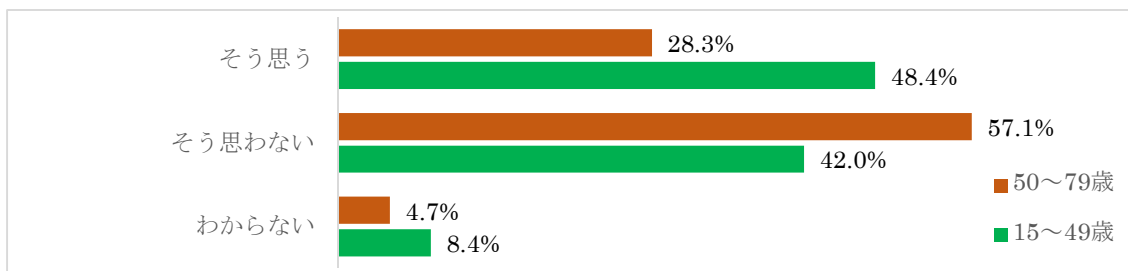
・全体的に、「50～79 歳」より「15～49 歳」の方が、設問の項目について「重要視する」と答えた人の割合が、高い傾向がみられた。

(問 36：杵築市をどのように感じるか)

※本問では、重要と感じるかと合わせて、今の杵築市について「そう思うか」、「そう思わないか」を調査。全 17 項目のうち、変化が見られた 4 項目とその特徴を以下に示す。この他の項目は、同様の結果となった。

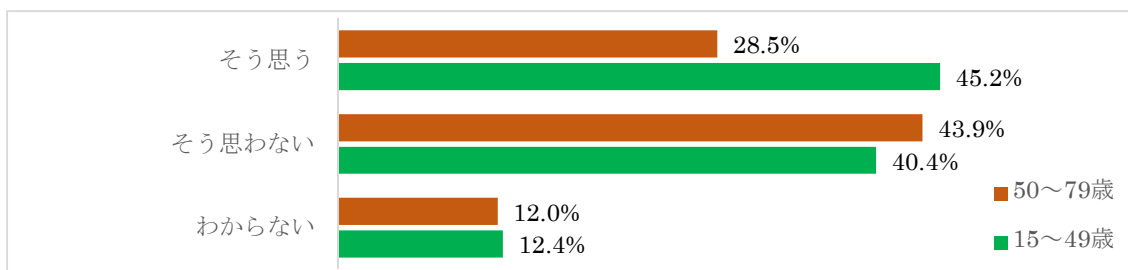
※「そう思う」「そう思わない」には、「どちらかといえば」を含む。

### 【⑤物価が安い】



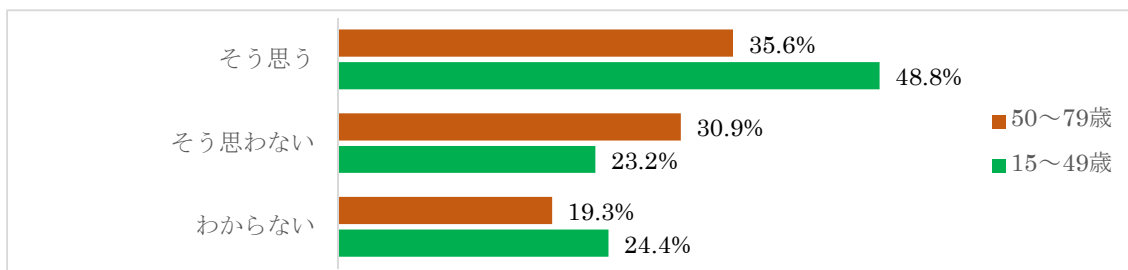
- ・「50～79 歳」の方が、杵築市は物価が高いと感じている。
- ・「15～49 歳」の約半数は、物価が安いと感じている。

### 【⑥教育環境・条件が整っている】



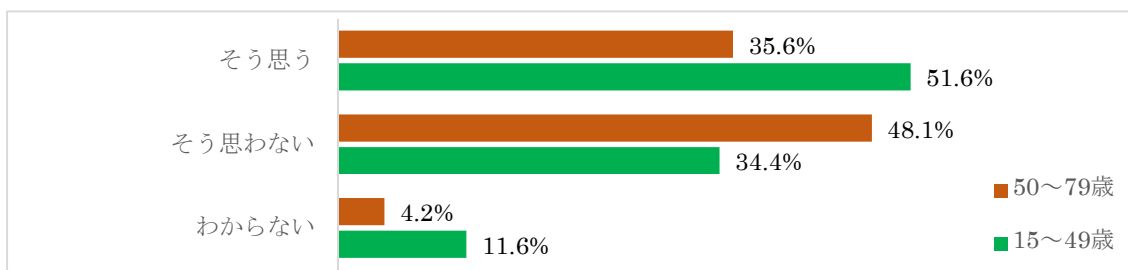
- ・「15～49 歳」の方が、杵築市は教育環境・条件が整っていると感じている。
- ・一方でいずれも、約半数が「そう思わない」と回答している。

### 【⑪子育てがしやすい】



- ・「15～49 歳」の方が、子育てしやすいと感じているものの半数にとどまる。

### 【⑮生活道路や公園の美化など生活環境が良い】

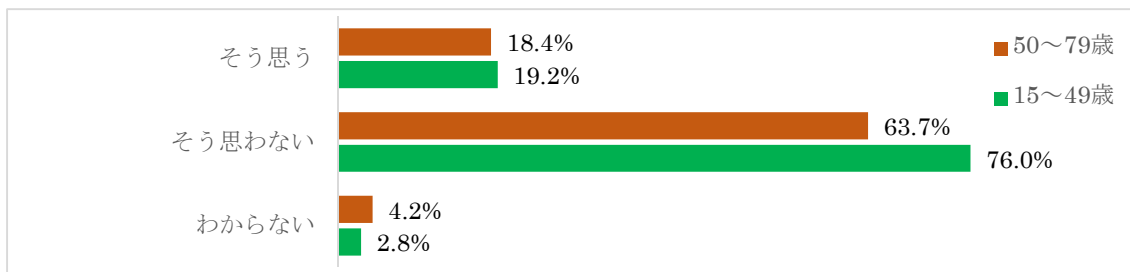


- ・「15～49 歳」の方が、生活道路や公園の美化など生活環境が良いと感じている。
- ・一方で、「50～79 歳」の約半数が、生活環境が良くないと感じている。

【①買い物が便利】

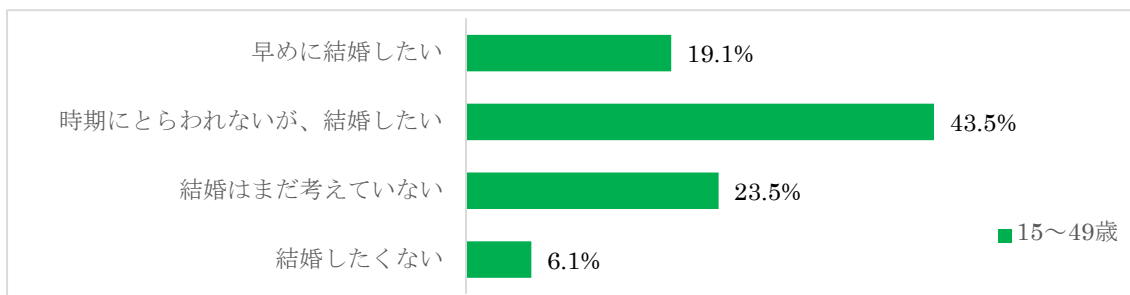


【③公共交通が便利】



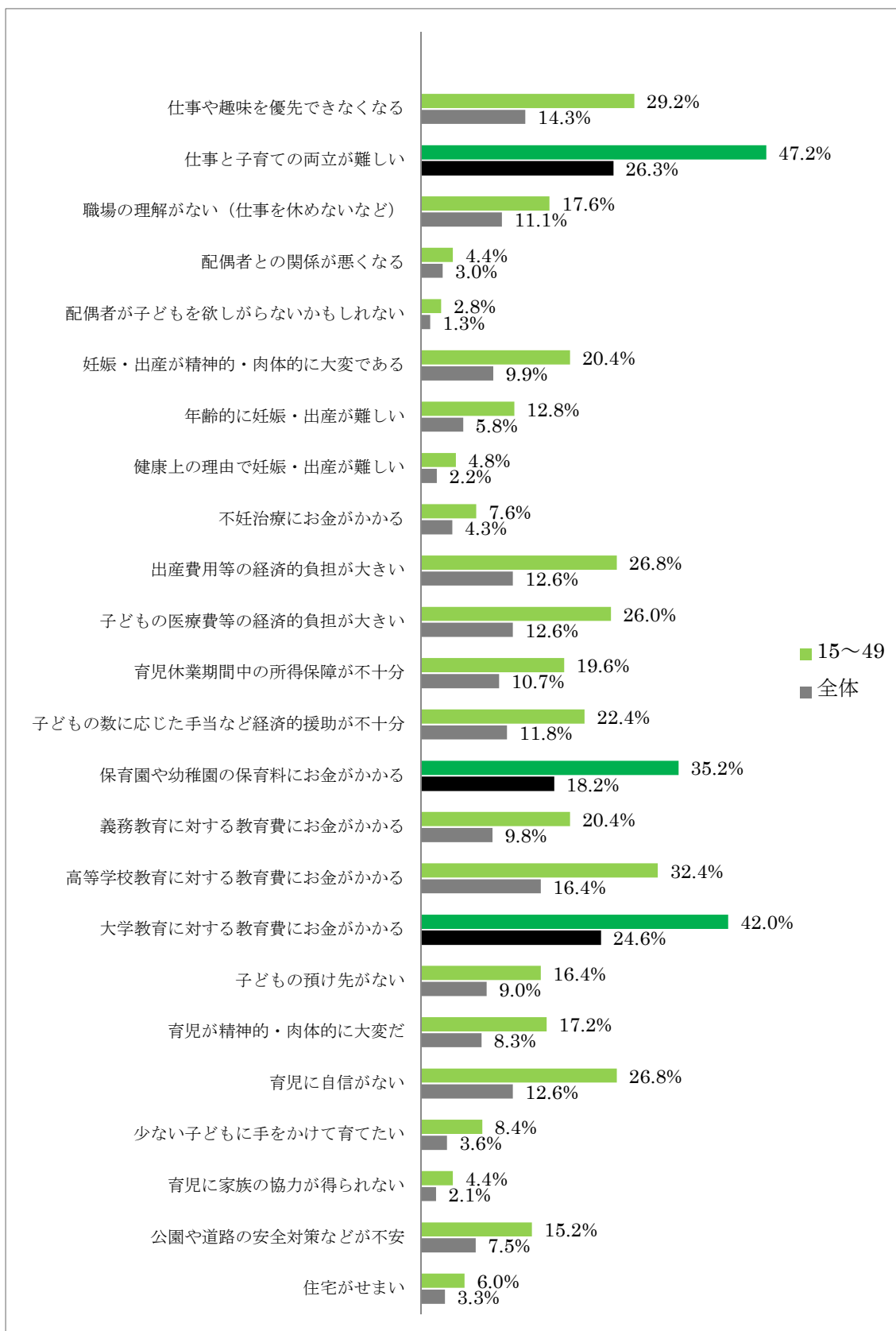
- ・【①買い物が便利】では、いずれも評価が分かれたほか、【③公共交通が便利】では、年齢差に関係なく、多くの方が不便さを感じている。
- ・【⑦住宅条件が良い】【⑫緑や水辺などの自然環境に恵まれている】【⑭まちのイメージが良い】などほか、多くの項目で「15～49 歳」の方が、「50～79 歳」よりも「そう思う」の割合が高かった。（良い印象を抱いている。）

(問 38：未婚者の「結婚」への意識調査) ※「15～49 歳」を抽出



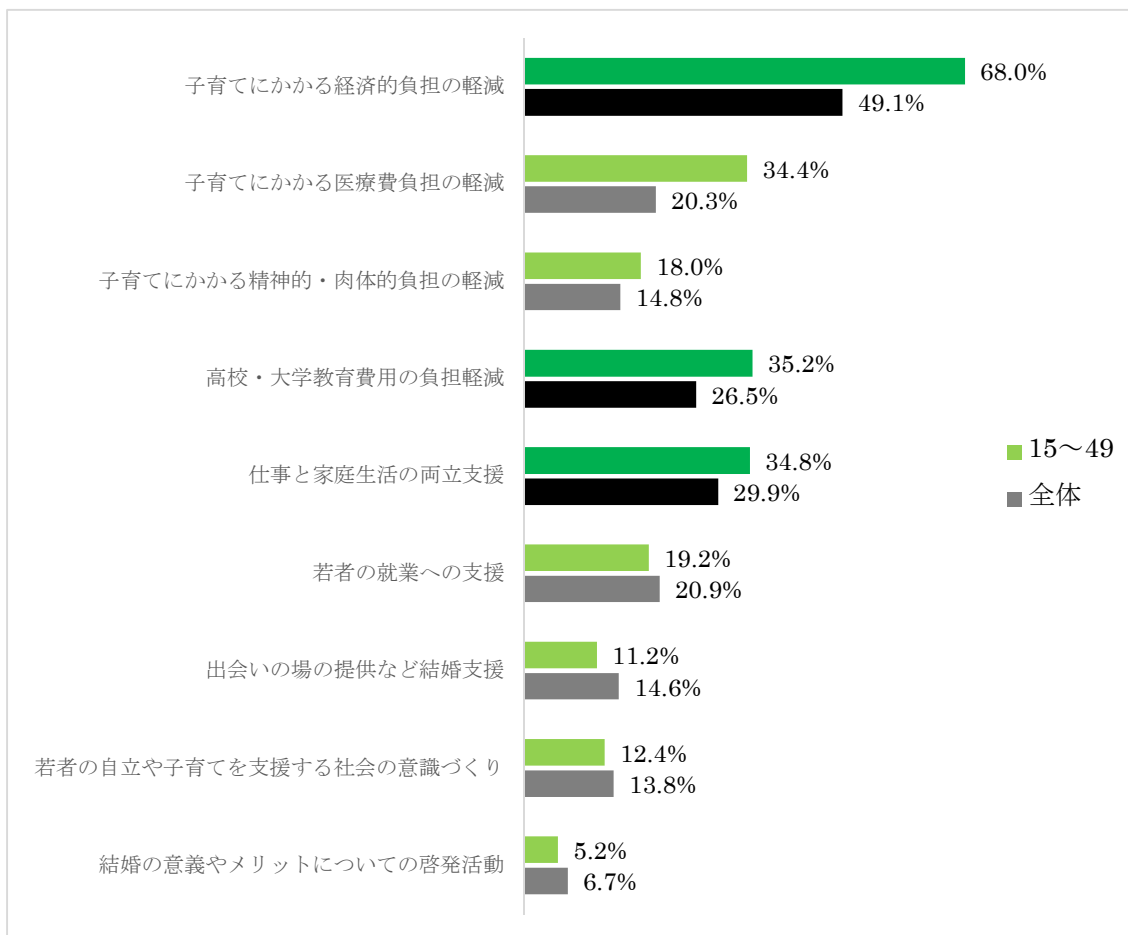
n = 115

(問 42：出産・子育てに関する懸念や不安／「15～49 歳」)



- ・経済的負担のうち、特に大学教育費を懸念する割合が高い。
- ・「15～49 歳」の 4 人に 1 人以上が、「育児に自信がない」と不安を感じている。

(問 44：結婚・子育てに求める対策等／「15～49 歳」)

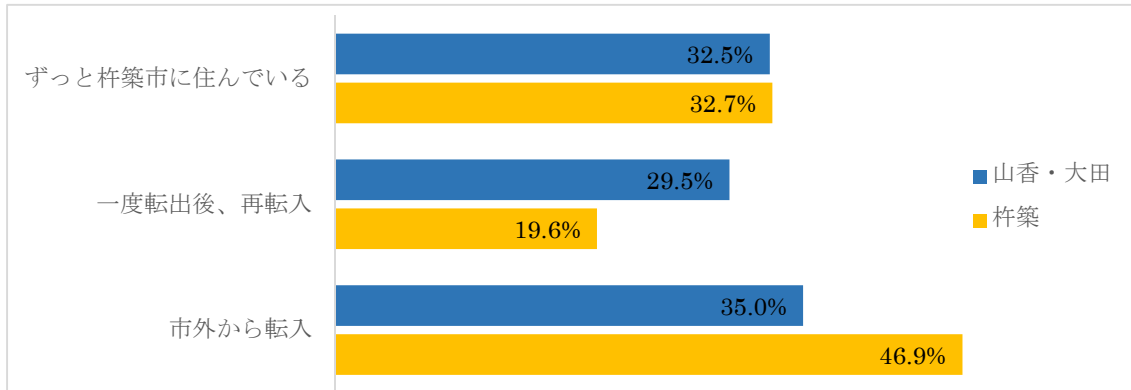


### (3) 住地域による差異

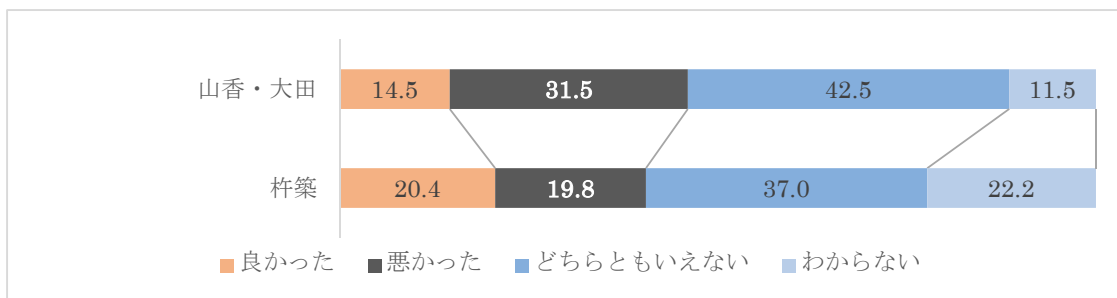
杵築地域在住者：465 票、山香・大田地域在住者：200 票（大田：26 票）

#### 【項目1】属性における特徴

##### (出身)



##### (合併の評価) 単位：%



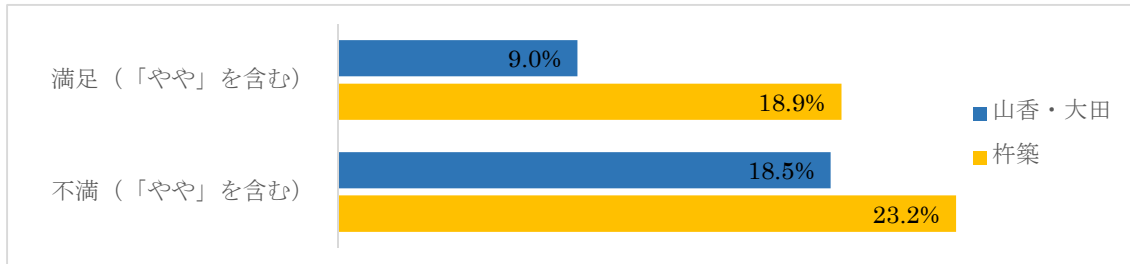
- ・年齢、住年数、職業、家族構成等で、住地域による大きな差はなかった。
- ・出身型を見ると、「山香・大田地域在住者」はおおむね均等割合だったのに対し、「杵築地域在住者」は転入者（市外出身者）が約半数だった一方で、杵築地域には、一度転出して戻ってきた人は少ない傾向がみられた。
- ・市町村合併について、「山香・大田地域」でマイナス評価がみられた。



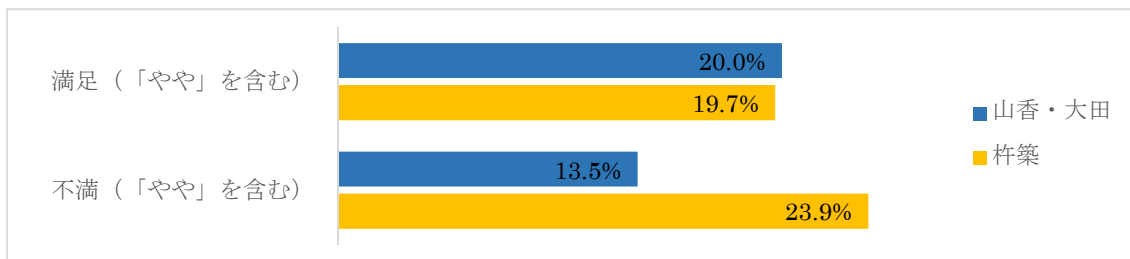
## 【項目2】各事業分野／市役所事務のあり方における特徴

- ・重要度、満足度とも、多くの項目で同程度の割合となり、地域差はあまりみられなかった。
- ・不満や満足の項目で、差がみられたものを以下に抜粋した。

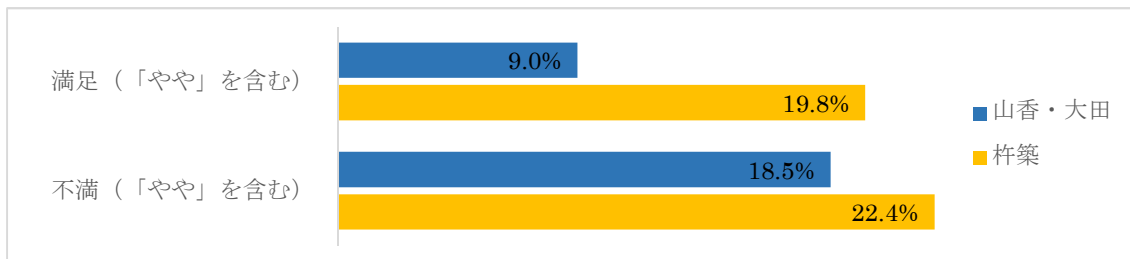
### （問5：誰もが使える公共施設に関する満足度）



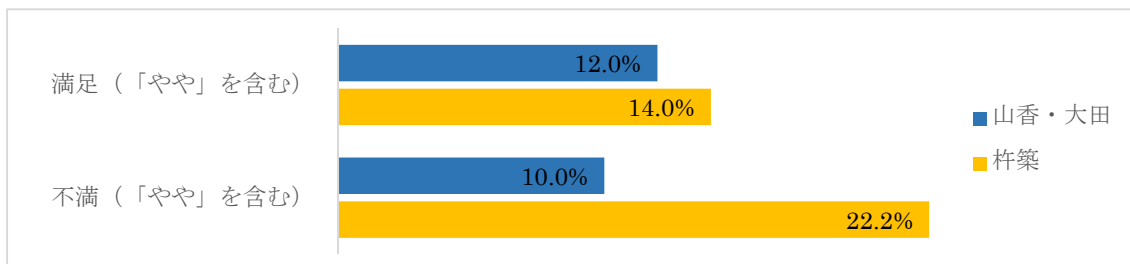
### （問7：交通安全対策に関する満足度）



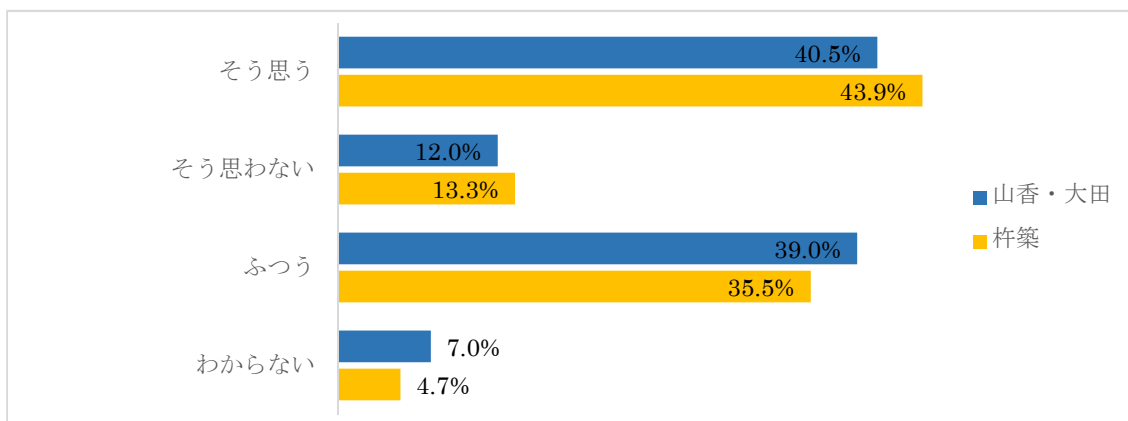
### （問12：集客・観光の振興に関する満足度）



### （問19：社会教育・生涯学習の充実に関する満足度）

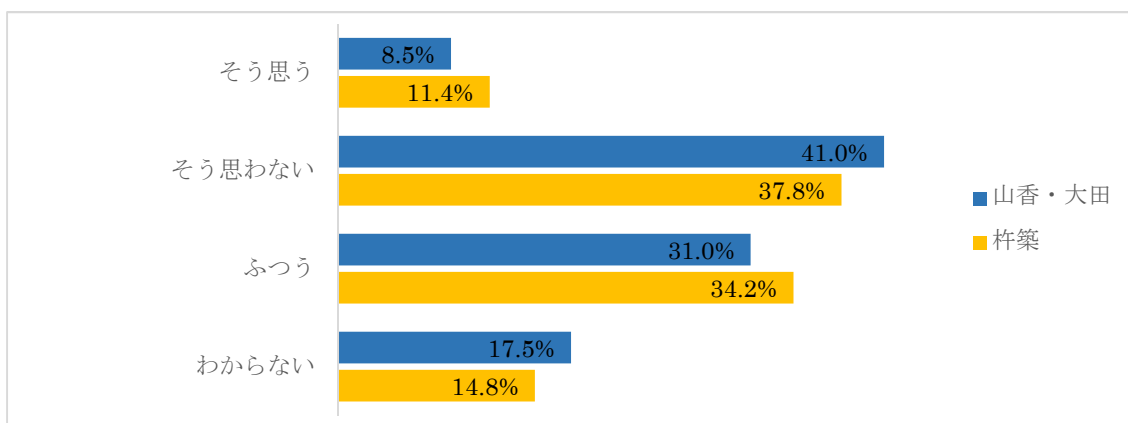


(問 28：市職員の窓口・電話対応は丁寧で分かりやすいと思うか)



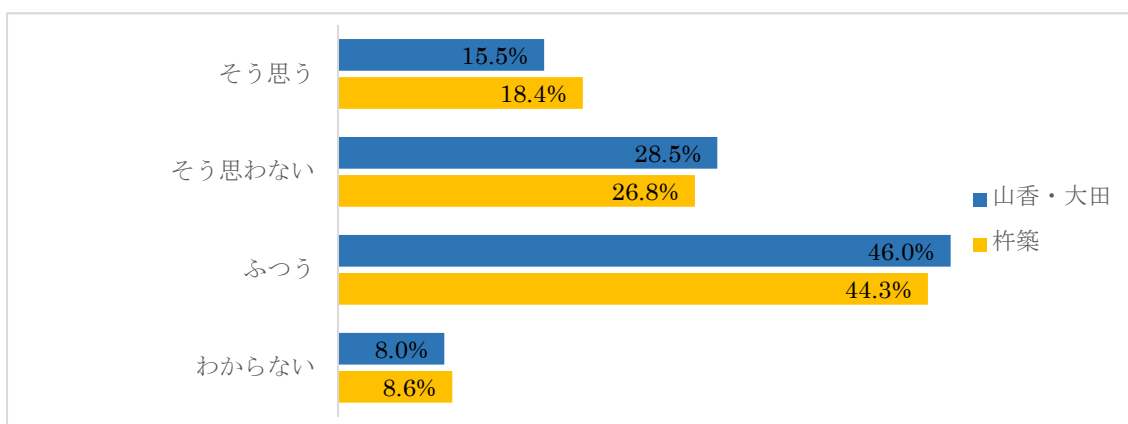
※「そう思う・思わない」には、「どちらかといえば」を含む。

(問 29：市民の意見は市政に活かされていると思うか)



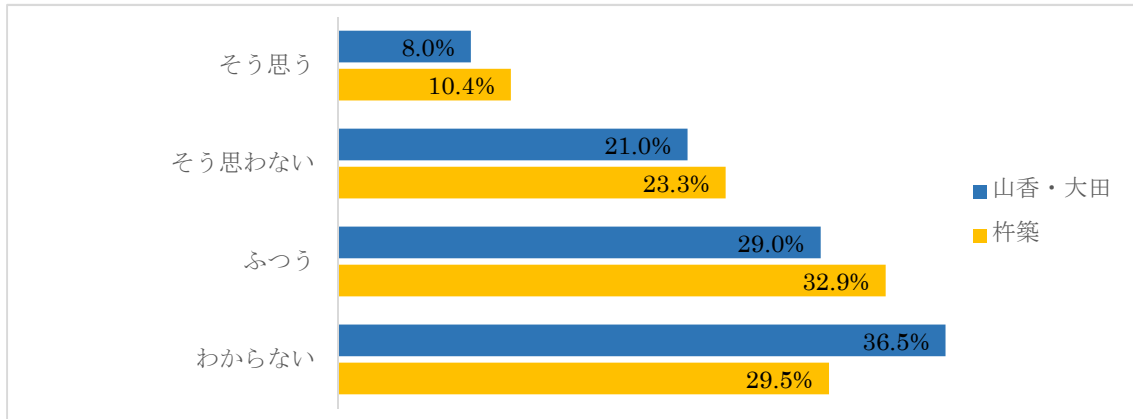
※「そう思う・思わない」には、「どちらかといえば」を含む。

(問 30：市民に役立つ情報が伝えられていると思うか)



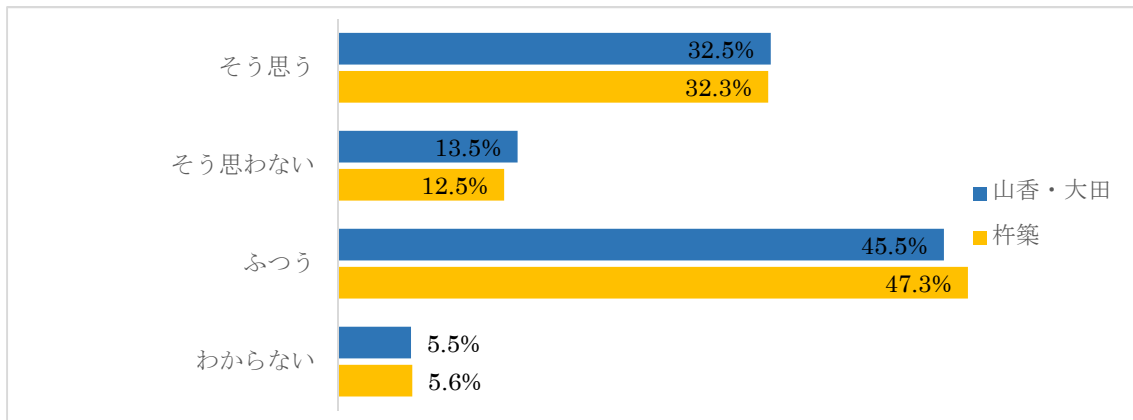
※「そう思う・思わない」には、「どちらかといえば」を含む。

(問 31：市のホームページは利用しやすいと思うか)



※「そう思う・思わない」には、「どちらかといえば」を含む。

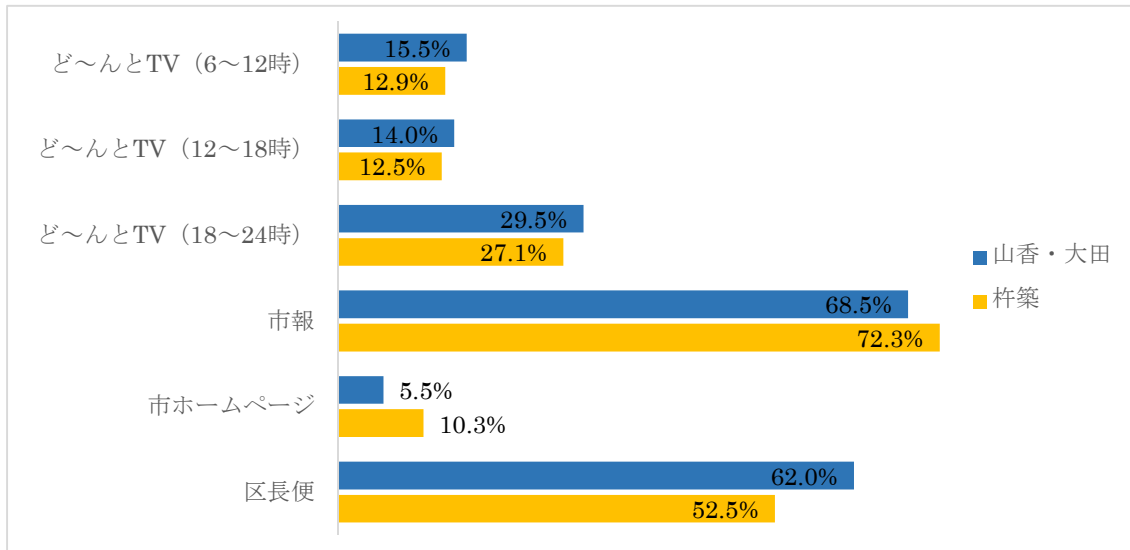
(問 32：広報きつき（市報）の内容は充実していると思うか)



※「そう思う・思わない」には、「どちらかといえば」を含む。

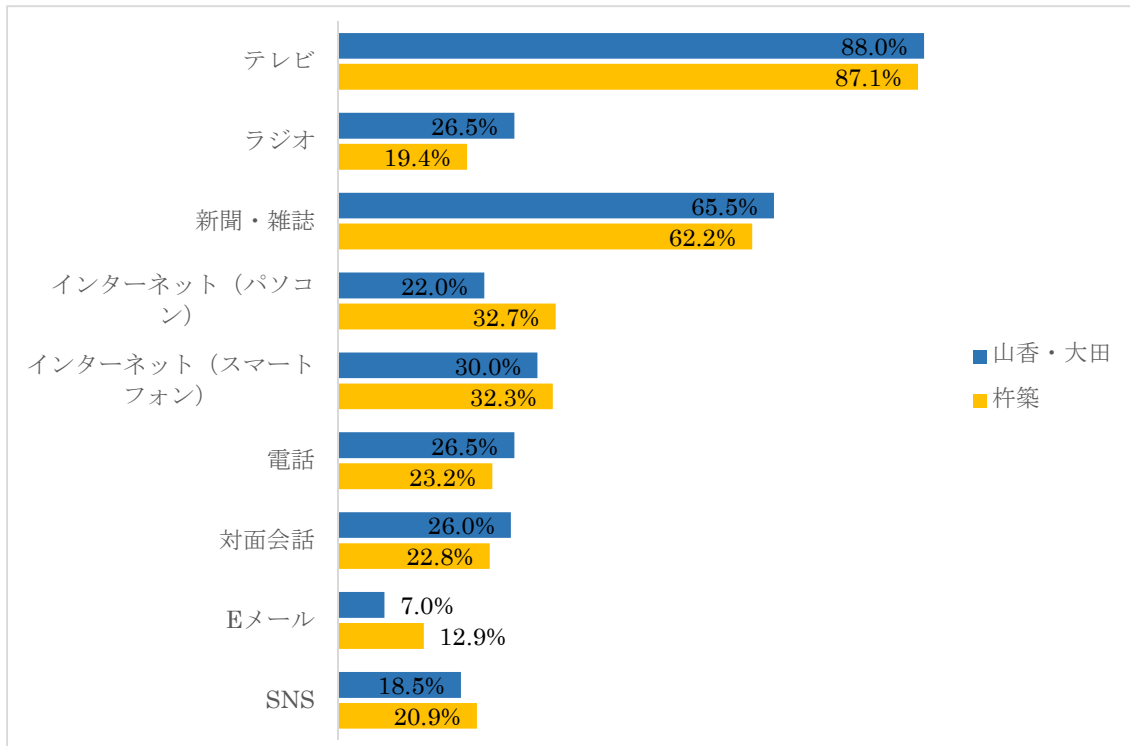
- ・ 職員の対応等、市役所事務について住地域による差はほとんどなかった。

【項目3】生活、結婚・子育て等に関する意識調査における特徴  
 (問 33：定期的に見たり、聞いたりしている情報源／抜粋)



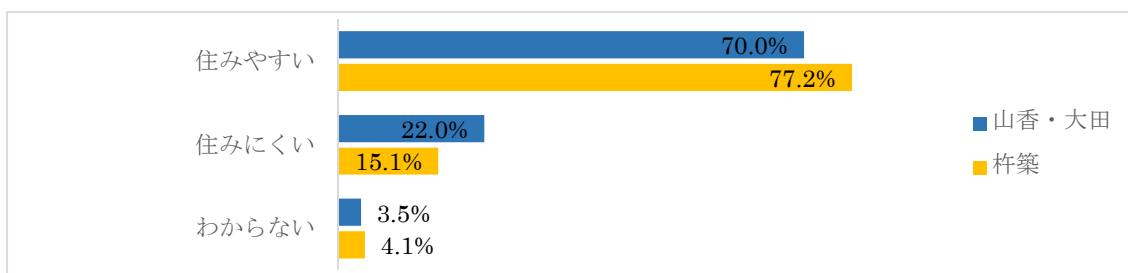
・杵築地域の「区長便」割合が若干低い以外は、大きな差はなかった。

(問 34：日ごろ、よく利用する情報機器やコミュニケーション方法／抜粋)



・パソコンからのインターネット接続に若干の差がある以外、大きな差はなかった。

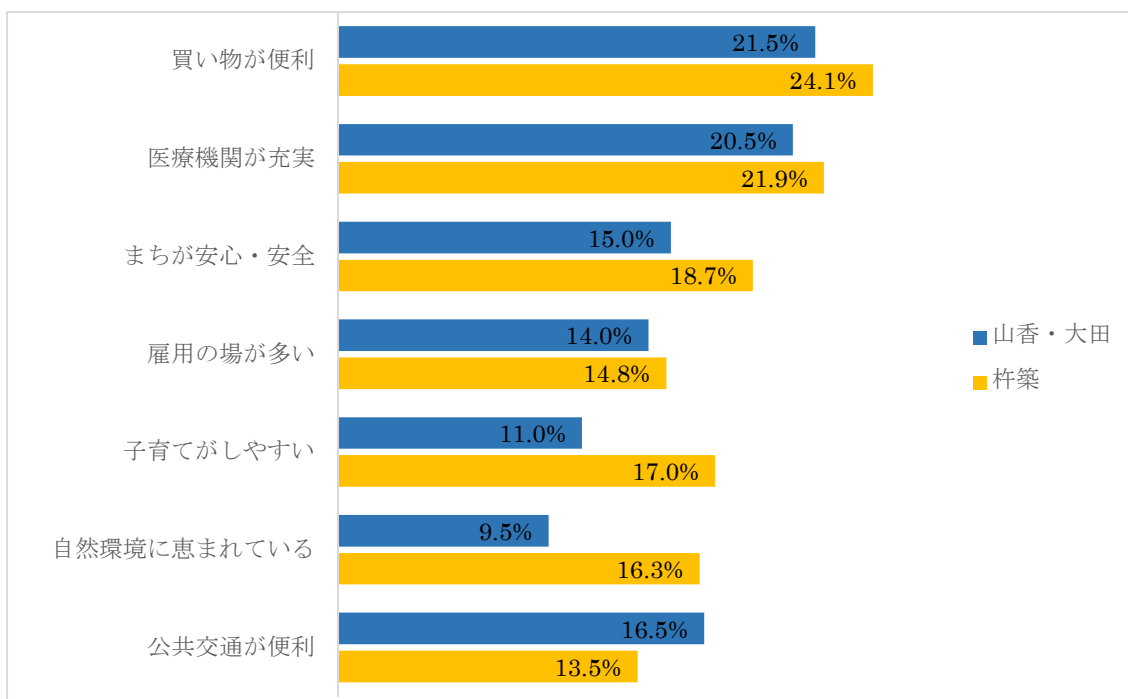
(問 35：杵築市の住みやすさをどう感じているか)



- ・住みやすさについて、杵築地域の方が若干プラス評価だった。  
※上記「住みやすい・住みにくい」は、「どちらかといえば」を含む。

(問 36：日頃の暮らしの中で、重要だと思う項目)

※上位 5 項目（2 位まで同じ項目となった）と特徴のある項目を抜粋。



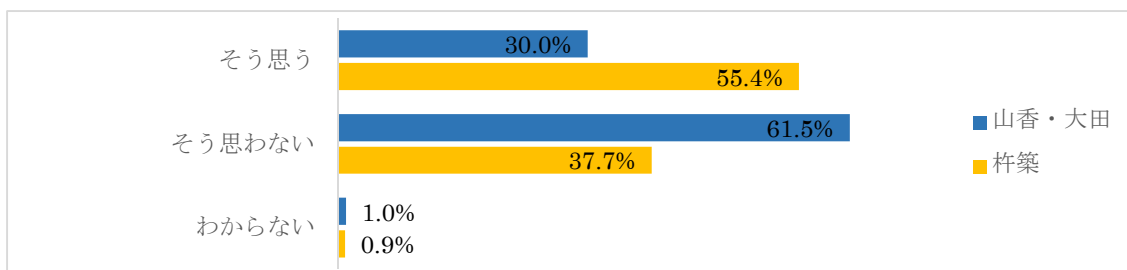
- ・いずれの属性も、重要視するのは「①買い物が便利なこと」、「⑧医療機関が充実していること」の順だった。
- ・3 位は、杵築地域「⑬まちが安心・安全」だったのに対し、山香・大田地域「③公共交通が便利」だった。
- ・「⑩雇用の場が多い」は、いずれの属性も同程度の割合だった。
- ・「⑫緑や水辺などの自然環境に恵まれている」は、杵築地域では 16.3%で上位だったものの、山香・大田地域では 9.5%で 11 位にとどまった。

(問 36：杵築市をどのように感じるか)

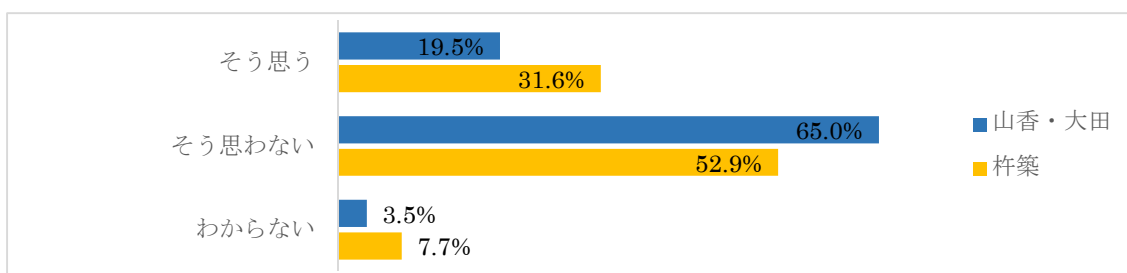
※本問では、重要と感じるかと合わせて、今の杵築市について「そう思うか」、「そう  
思わないか」を調査。全 17 項目のうち、特徴的な 6 項目を以下に示す。

※「そう思う」「そう思わない」には、「どちらかといえば」を含む。

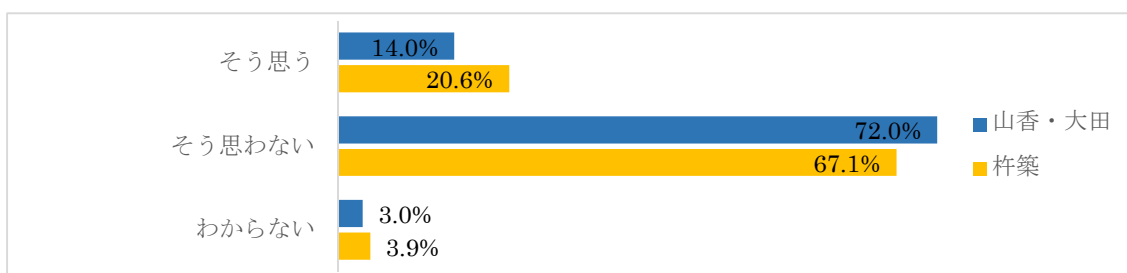
【①買い物が便利】



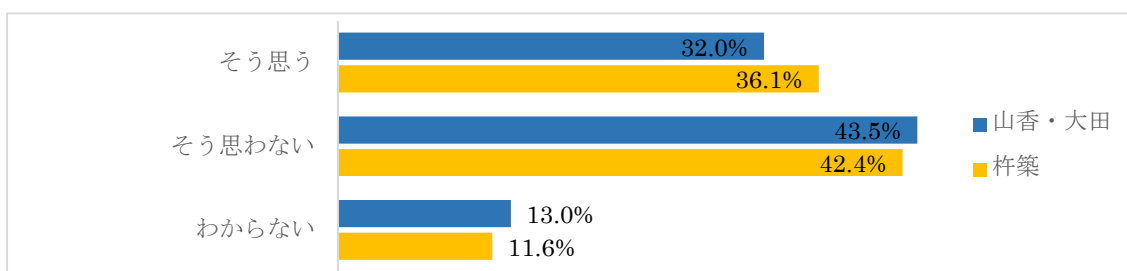
【②通勤・通学が便利】



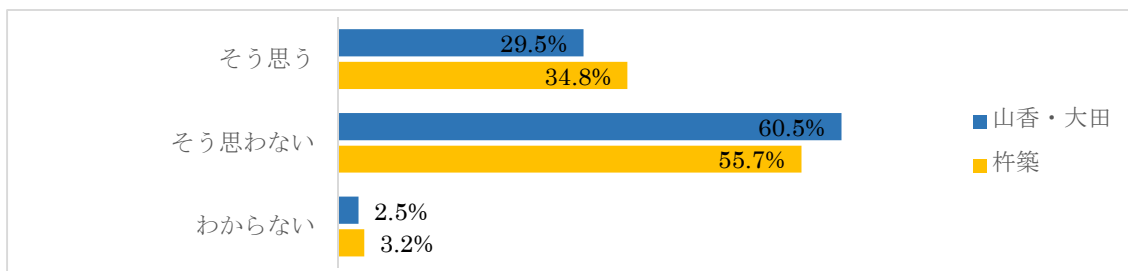
【③電車やバスなどの公共交通が便利】



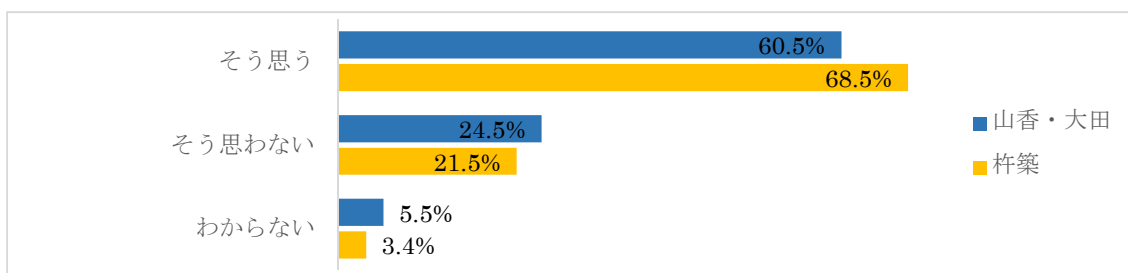
【⑥教育環境・条件が整っている】



【⑧医療機関が充実】



【⑬まちが安心・安全である】



- ・「①買い物が便利」「②通勤・通学が便利」では、(いずれもマイナス評価は多いものの) 圧倒的に、山香・大田地域で不便に感じている人の割合が高い。
- ・「③公共交通」では、いずれの属性も不便に感じている人の割合が高い。
- ・「⑥教育環境・条件」では、いずれの属性も同様程度の評価となった。
- ・「⑧医療機関の充実」、「⑬まちが安心・安全」でも、若干ではあるが、山香・大田地域の方がマイナス評価となった。

【問 37～44】：結婚や子どもの人数、子育てや結婚に感ずる懸念や不安については、いずれの属性においても大きな差もなく、地域差を分析する理由がないことから省略する。

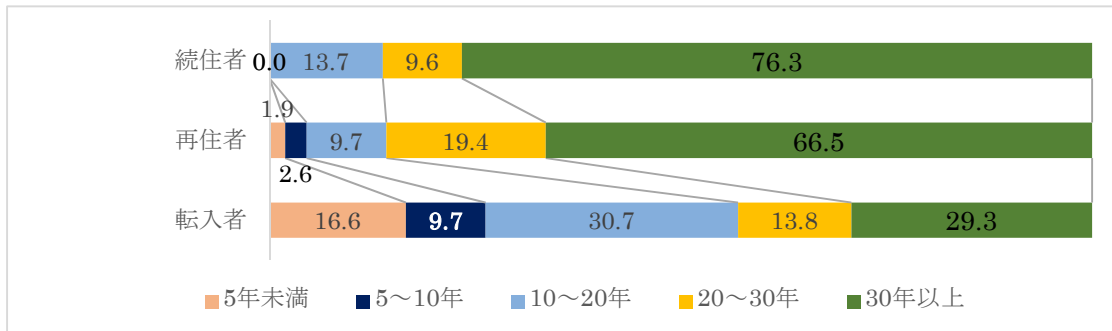
#### (4) 出身型による差異

生まれてからずっと杵築市に住み続けている人を「続住者」、  
進学などで一時的に転出し、その後戻ってきた人を「再住者」、  
市外（県外・国外含む）から転入してきた人を「転入者」と表記する。

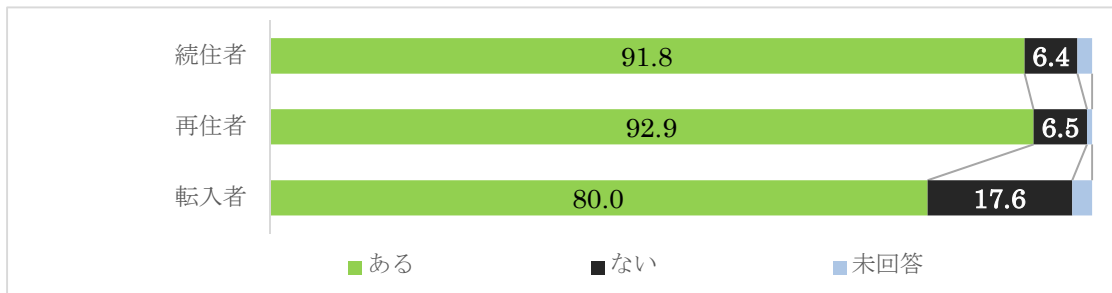
続住者：219票、再住者：155票、転入者：290票

##### 【項目1】属性における特徴

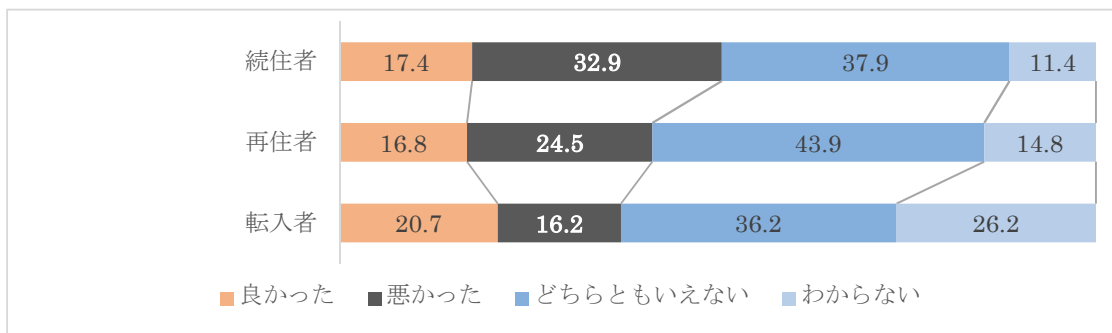
(住年数) 単位：%



(杵築市への愛着の有無) 単位：%



(合併の評価) 単位：%



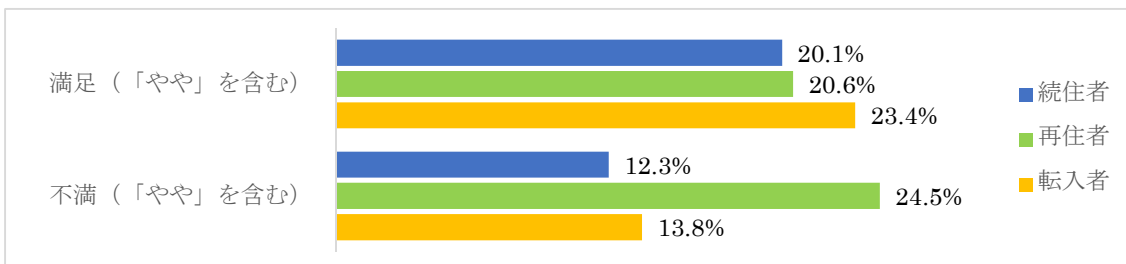
- ・回収票のうち、10年以内に引っ越してきた再住者は、5%未満だった。
- ・杵築市への愛着は、続住者と再住者は同程度だったのに対し、転入者は若干低い値となった。
- ・合併について、いずれの属性も「どちらともいえない」が多かった。



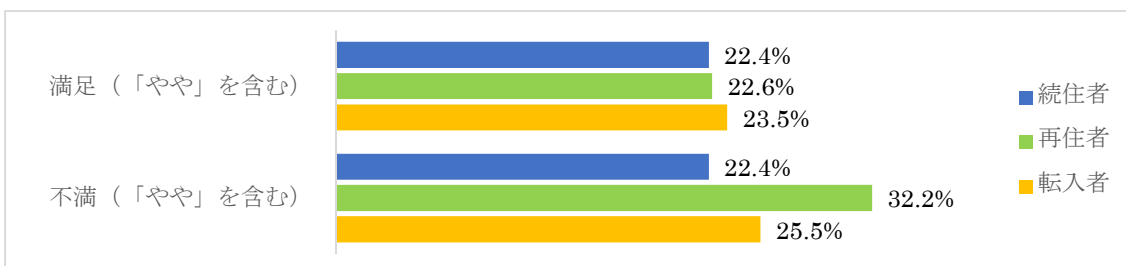
【項目2】各事業分野／市役所事務のあり方における特徴

- ・重要度は、多くの項目で同程度の割合となり、出身型による差はあまりみられなかった。満足度について、差がみられたものを以下に抜粋した。

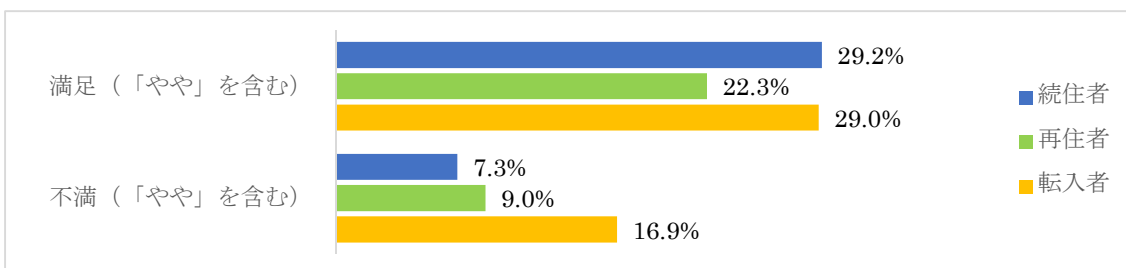
(問1：健康づくりの充実に関する満足度)



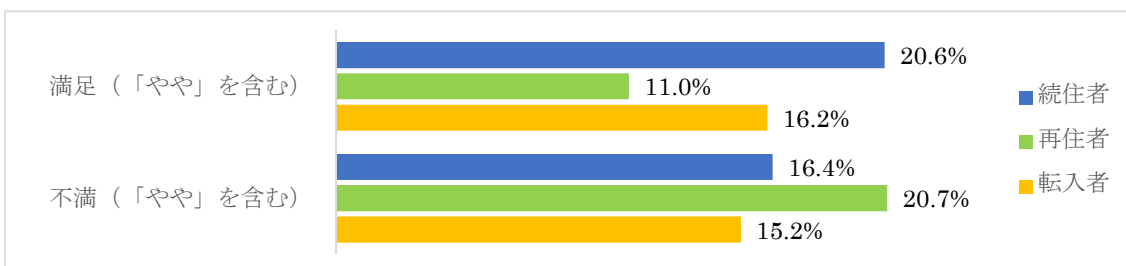
(問2：保健・医療体制の充実に関する満足度)



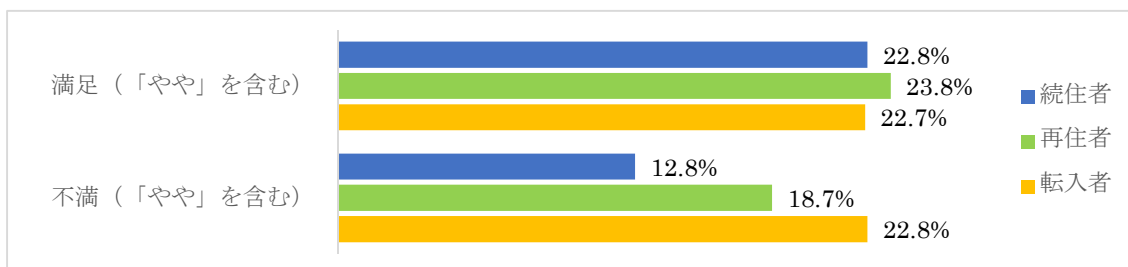
(問16：環境問題への対策に関する満足度)



(問18：幼児・学校教育の充実に関する満足度)

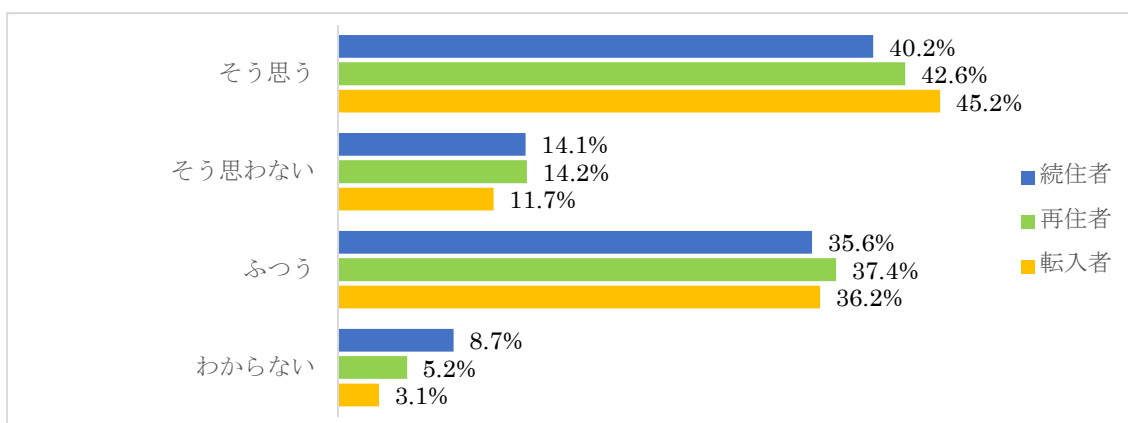


(問 23：上・下水道の整備に関する満足度)



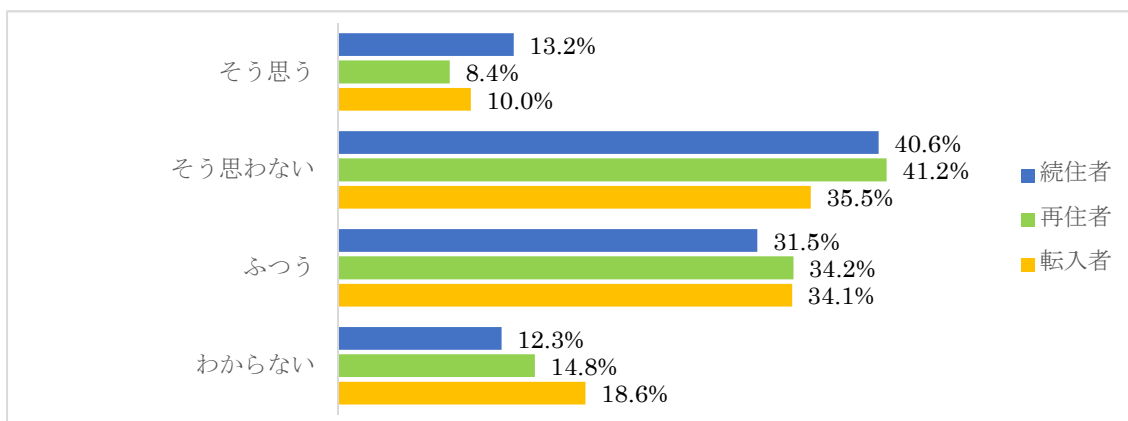
・「健康づくりの充実」、「保健・医療体制の充実」、「幼児・学校教育の充実」では、再住者のマイナス評価が高かった一方で、「環境問題への対策」、「上・下水道の整備」では、転入者のマイナス評価が高かった。

(問 28：市職員の窓口・電話対応は丁寧で分かりやすいと思うか)



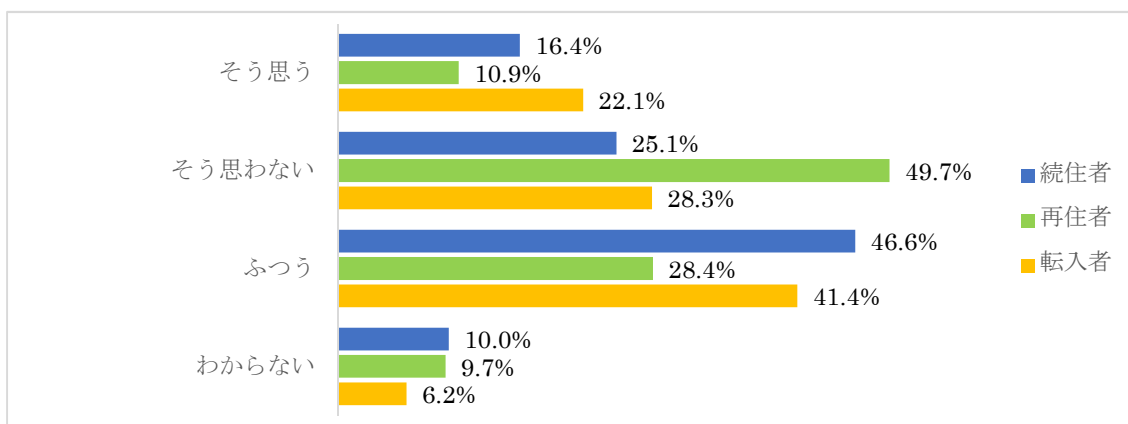
※「そう思う・思わない」には、「どちらかといえば」を含む。

(問 29：市民の意見は市政に活かされていると思うか)



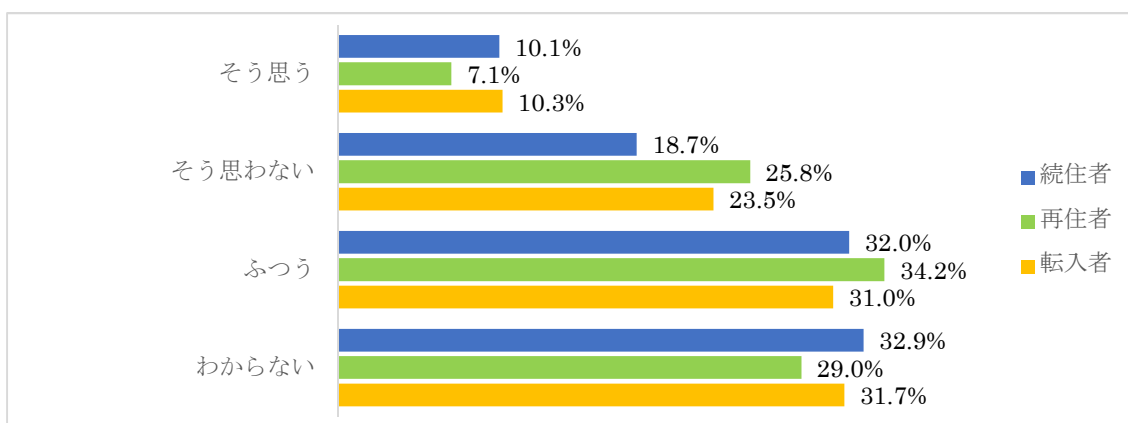
※「そう思う・思わない」には、「どちらかといえば」を含む。

(問 30：市民に役立つ情報が伝えられていると思うか)



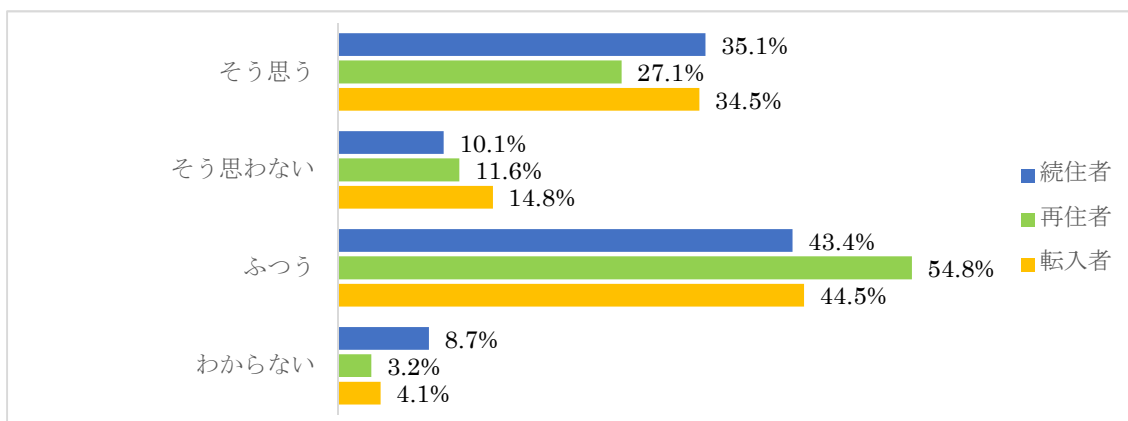
※「そう思う・思わない」には、「どちらかといえば」を含む。

(問 31：市のホームページは利用しやすいと思うか)



※「そう思う・思わない」には、「どちらかといえば」を含む。

(問 32：広報きつき（市報）の内容は充実していると思うか)

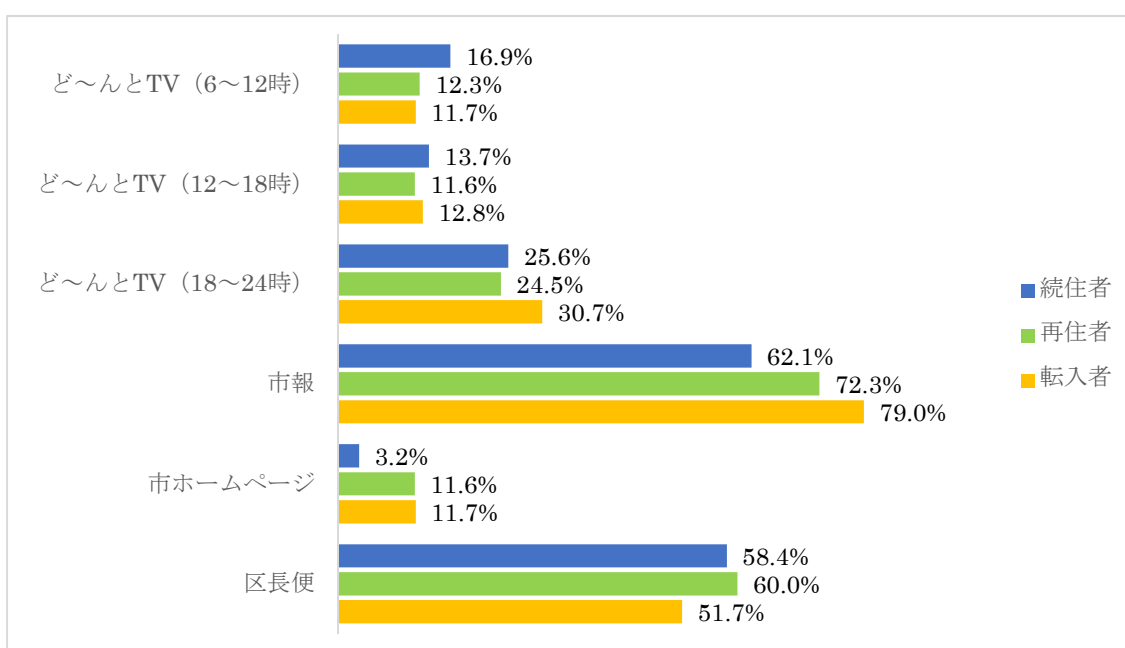


※「そう思う・思わない」には、「どちらかといえば」を含む。

- ・「市職員の対応」については、転入者からの評価が若干良かった。
- ・「市民に役立つ情報が伝えられていると思うか」では、評価が分かれ、転入者よりも再住者からの評価が目立って悪かった。

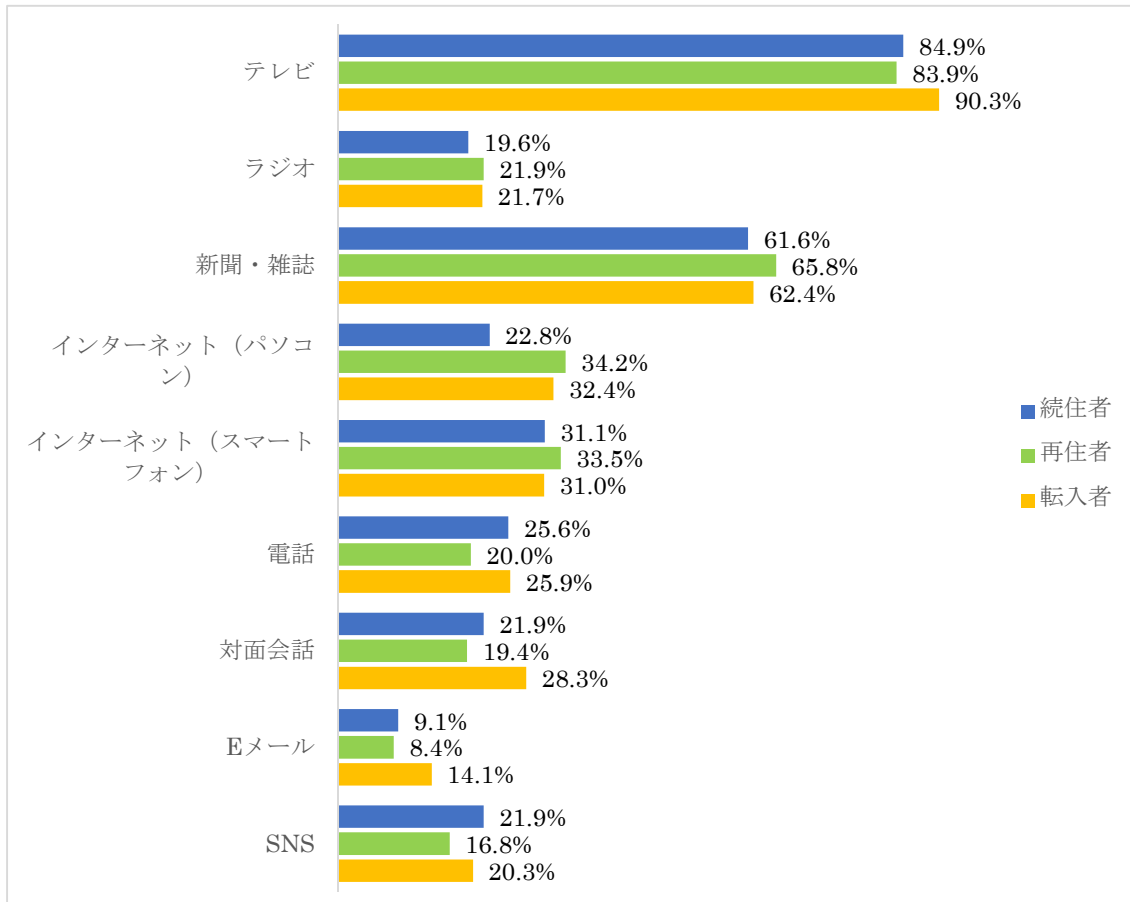
### 項目3】生活、結婚・子育て等に関する意識調査における特徴

(問33：定期的に見たり、聞いたりしている情報源／抜粋)



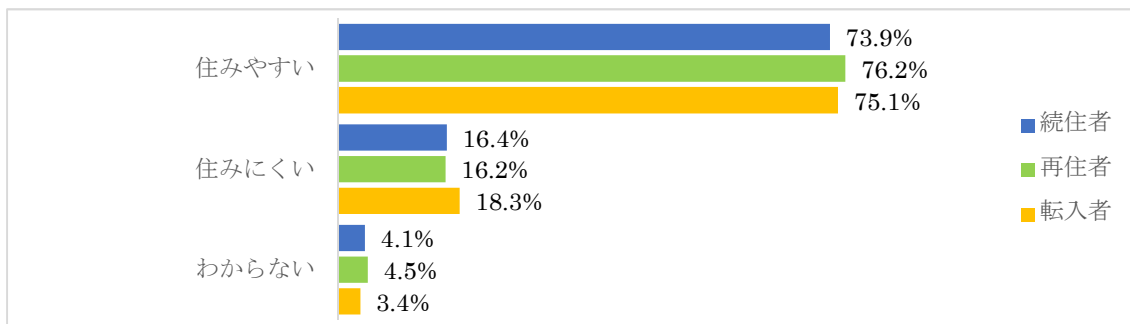
- ・市報や市ホームページは、再住者や転入者の方が、続住者より利用している。続住者は、市からのお知らせに対して、意識的に情報収集していない可能性がある。
- ・ケーブルテレビの利用に、出身型による大きな差はなかった。
- ・区長便は、転入者の利用がやや少ない。

(問 34：日ごろ、よく利用する情報機器やコミュニケーション方法／抜粋)



- ・パソコンからのインターネット接続は、続住者が少ない。
- ・対面会話は、転入者がもっとも割合が高かった。

(問 35：杵築市の住みやすさをどう感じているか)



※上記「住みやすい・住みにくい」は、「どちらかといえば」を含む。

- ・住みやすさについて、出身型による差異はなかった。

(問 36：日頃の暮らしの中で、重要だと思う項目)

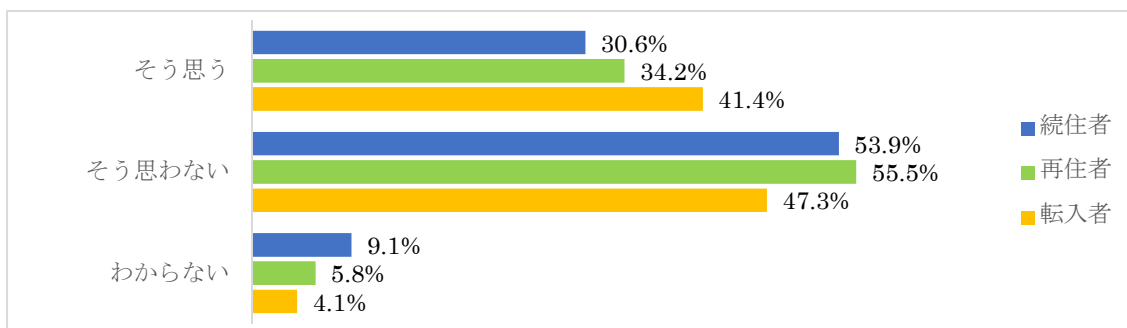
- ・いずれの属性も、重要視するのは「①買い物が便利なこと」、「⑧医療機関が充実していること」、「⑬まちが安心・安全」の順だった。
- ・4位以下は、いずれも数ポイント差となり、特筆すべき差異は認められなかった。

(問 36：杵築市をどのように感じるか)

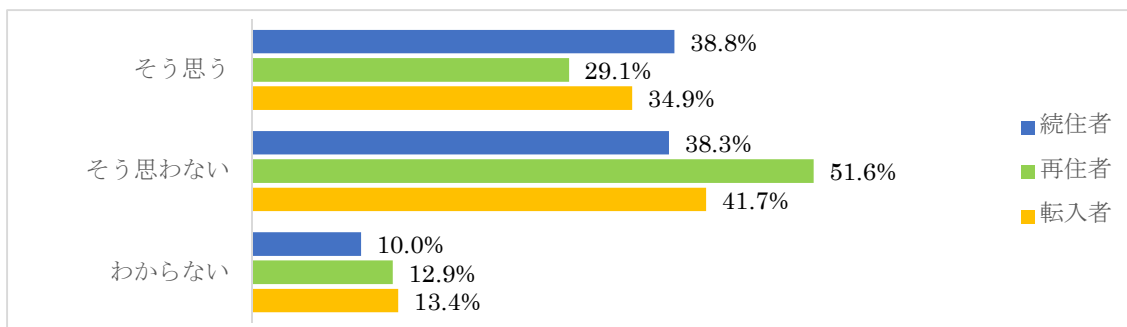
※本問では、重要と感じるかと合わせて、今の杵築市について「そう思うか」、「そう思わないか」を調査。全 17 項目のうち、特徴的な 7 項目を以下に示す。

※「そう思う」「そう思わない」には、「どちらかといえば」を含む。

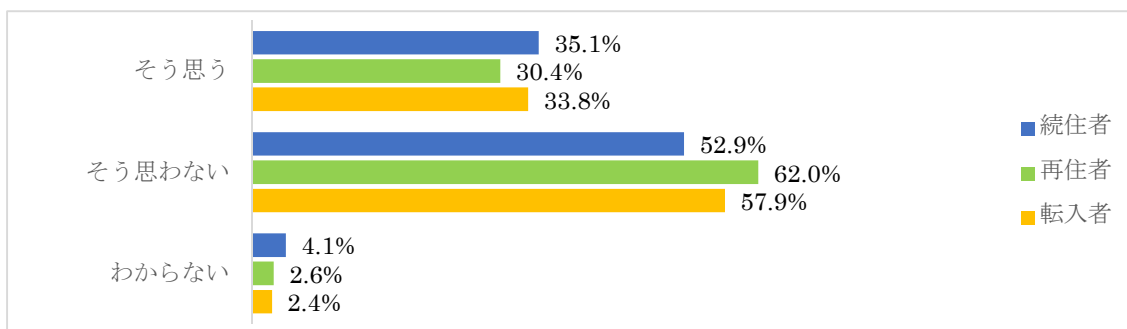
### 【⑤物価が安い】



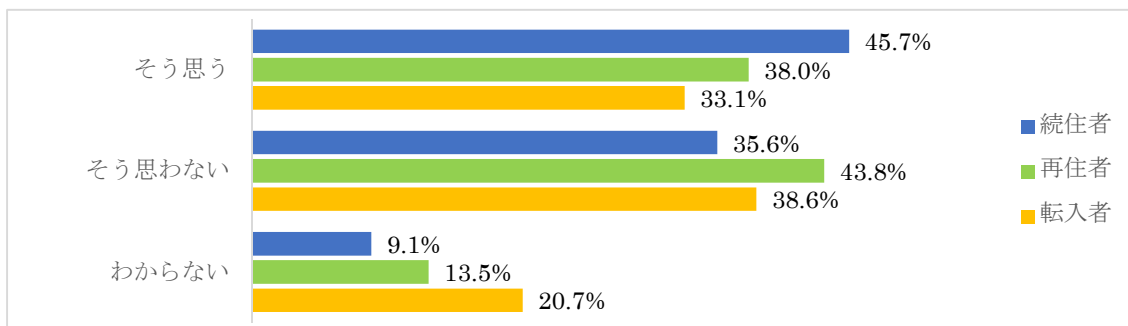
### 【⑥教育環境・条件が良い】



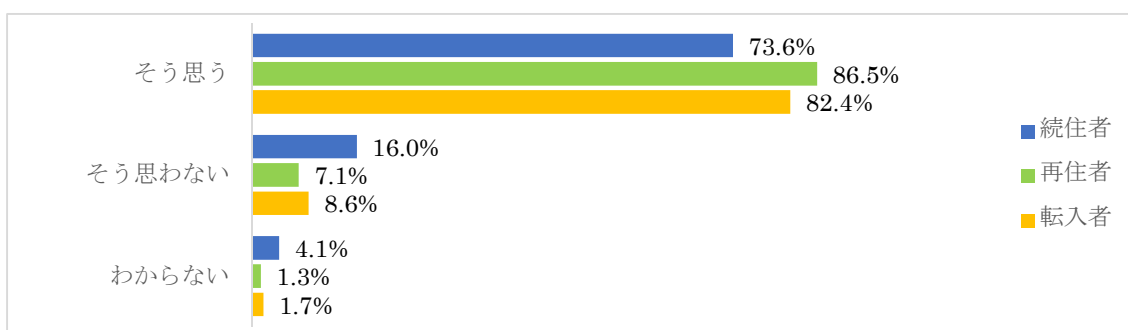
### 【⑧医療機関が充実】



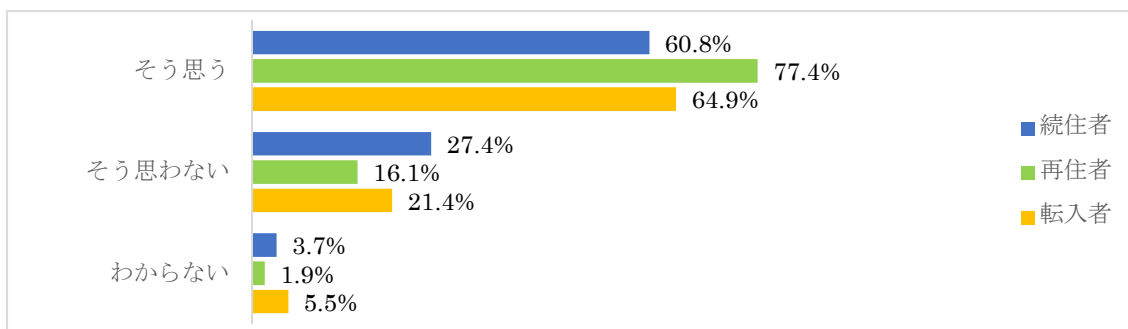
【⑨福祉が充実】



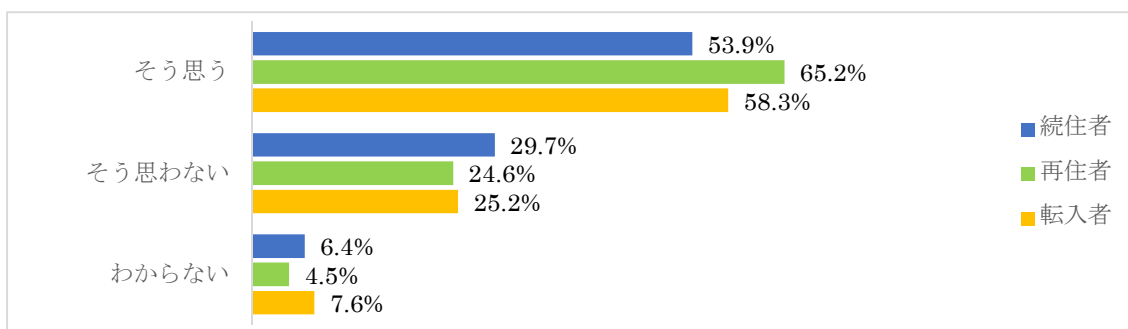
【⑫緑や水辺などの自然環境に恵まれている】



【⑬まちが安心・安全である】



【⑭まちのイメージが良い】



- ・「⑤物価」については、転入者の方が、再住者や続住者よりも物価が安いと感じる傾向にあった。
- ・「⑥教育環境・条件が良い」、「⑧医療機関が充実」では、特に再住者のマイナス評価が高かった。
- ・「⑨福祉が充実」では、続住者は充実していると感じる一方で、転入者は充実していない、またはわからないと感じる割合が高かった。
- ・「⑫緑や水辺などの自然環境に恵まれている」、「⑬まちが安心・安全である」、「⑭まちのイメージが良い」では、続住者よりも、再住者や転入者の方がプラス評価の割合が高かった。

【問 37～44】：結婚や子どもの人数、子育てや結婚を感じる懸念や不安については、いずれの属性においても大きな差はなく、出身型による差異を分析する理由がないことから省略する。